



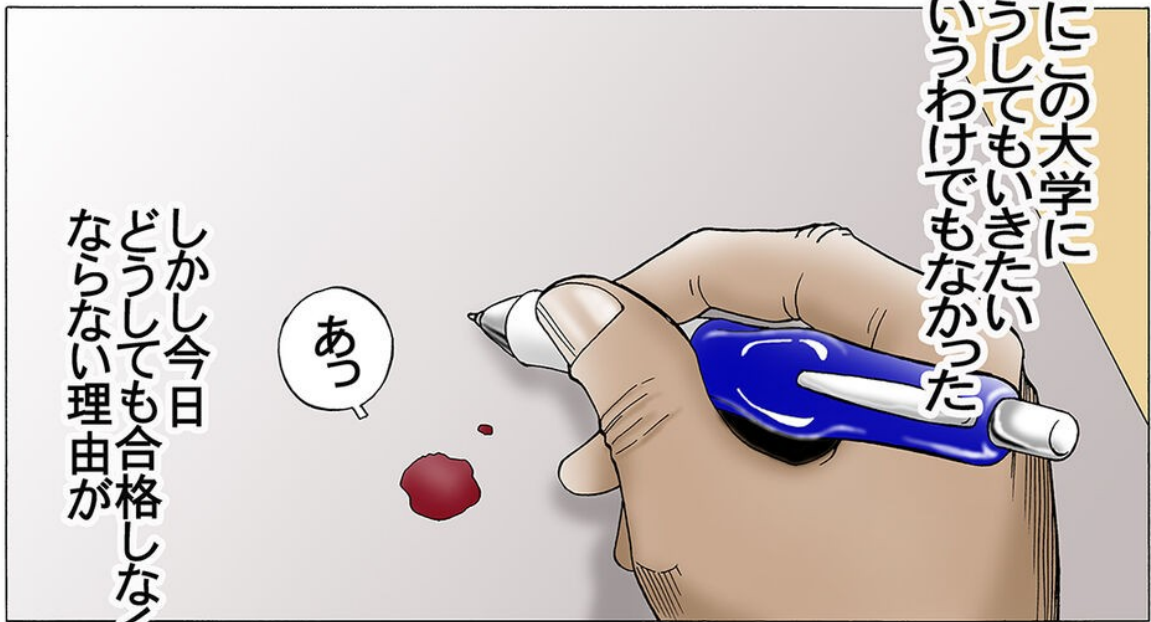
この身体は
ボクのもの。

石原ゆり子 43歳
彼女は人妻で母親で
ボクの……

大馬路試験
南校舎会
大学入学



別にこの大学に
どうしてもいきたい
というわけでもなかった



しかし今日
どうしても合格しなくては
ならない理由が



その発端は



やっぱり
久々に人のために
つくったから
張り切りすぎちゃって



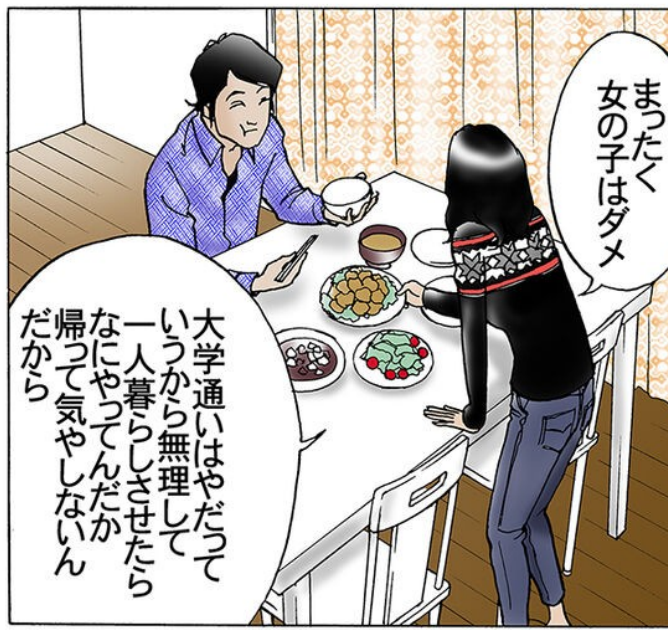
明日の受験
ガンバッテよ
天気もよさそうだし
前のりしなくても
よかったか



おじさんは
海外赴任中だから
しかたないけど
マキは？

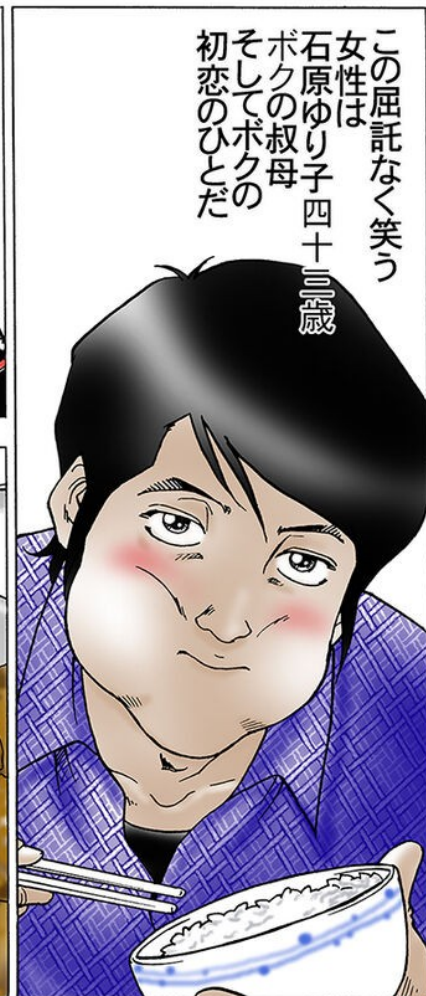
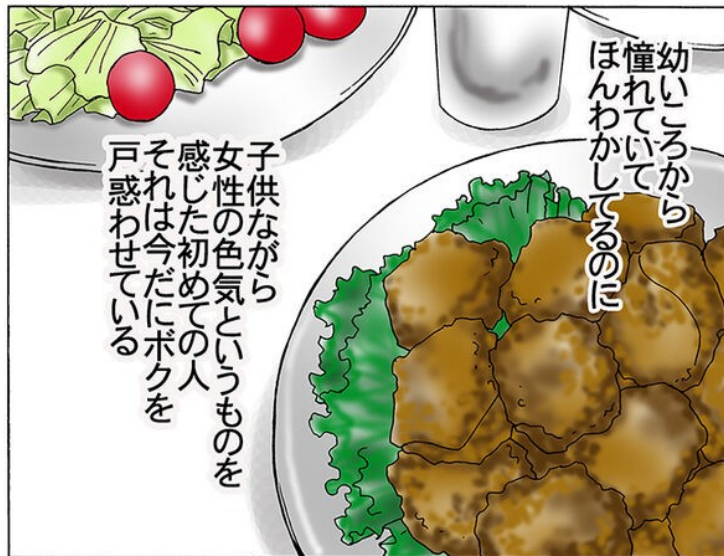


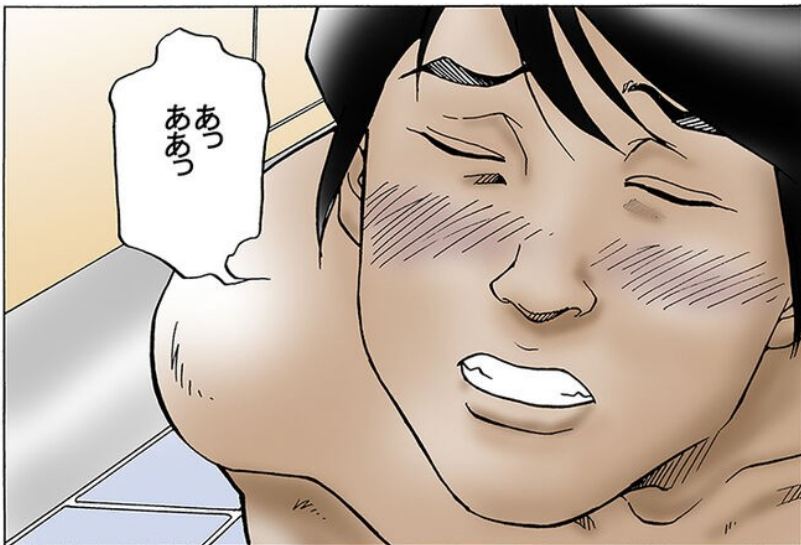
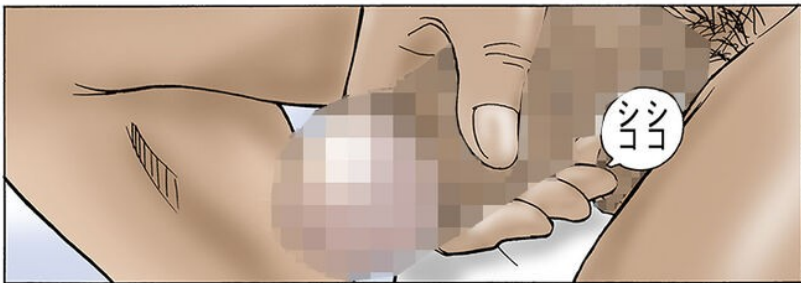
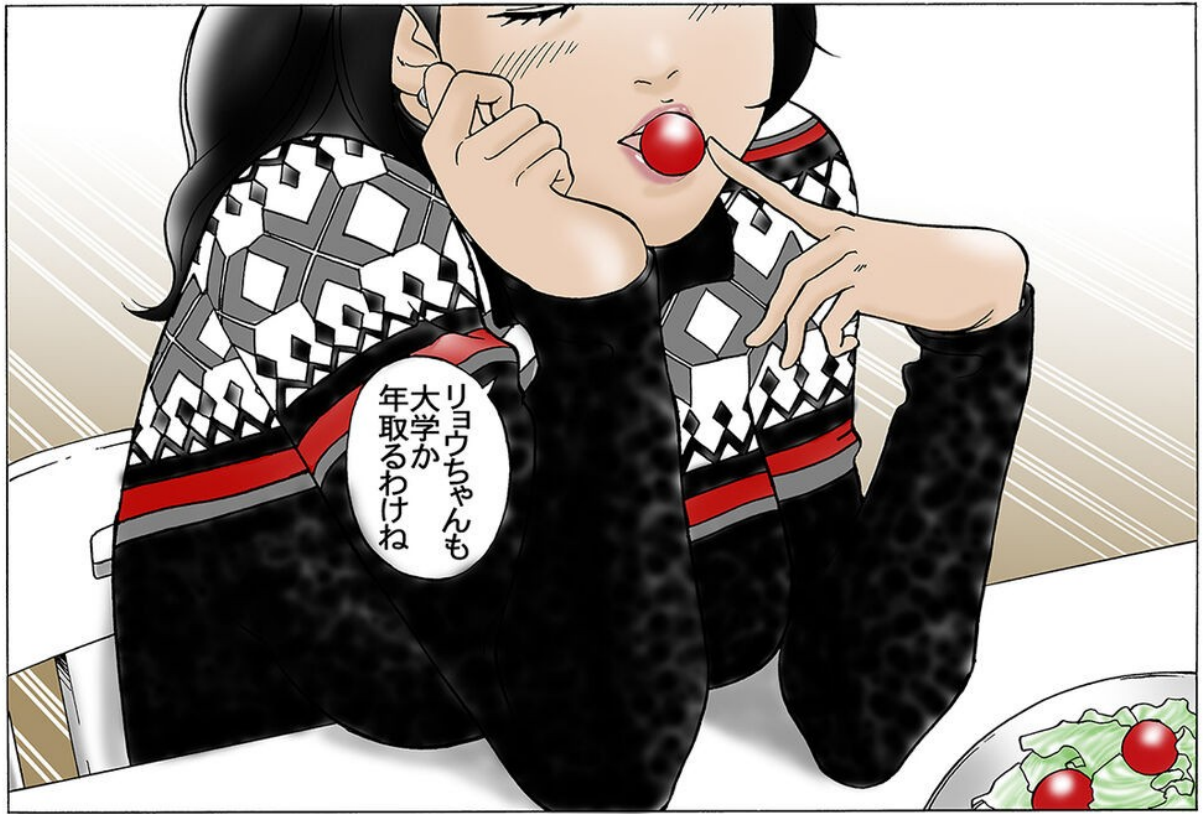
ゆり子おばさん
いくらなんでも一人で
こんなに食べれないよ



まったく
女の子はダメ

大学通いはやだって
いうから無理して
一人暮らしさせたら
なにやっつんだか
帰って気やしないん
だから

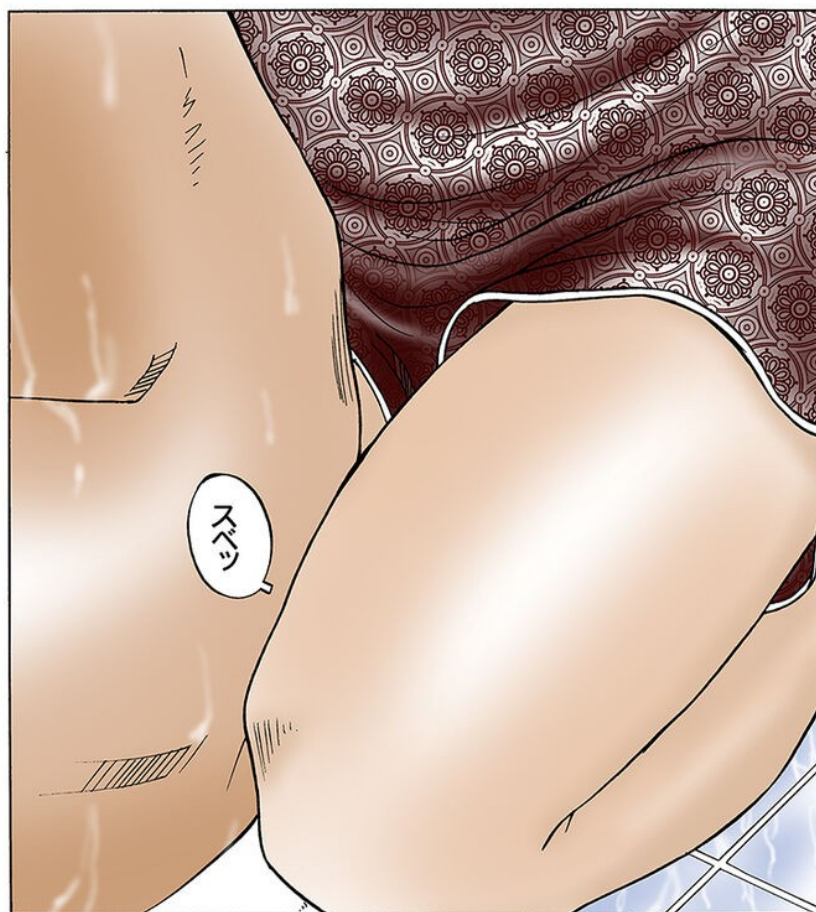




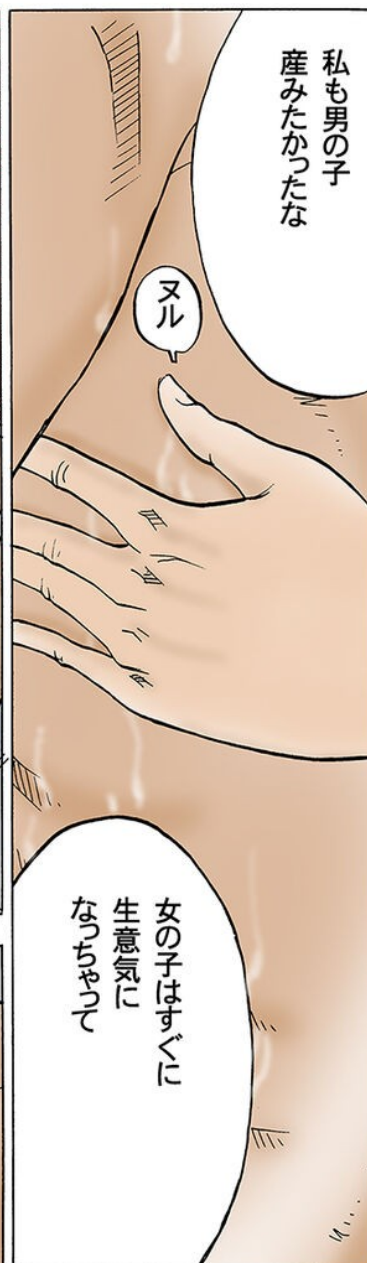


ほんとう
立派な男の
背中になっちゃって

そりゃ
そうだよ



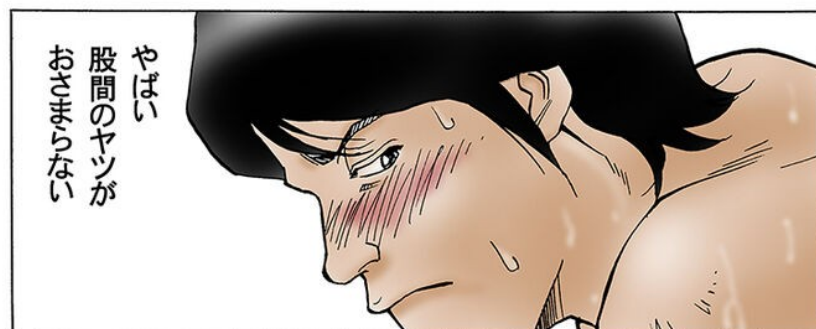
スベッ



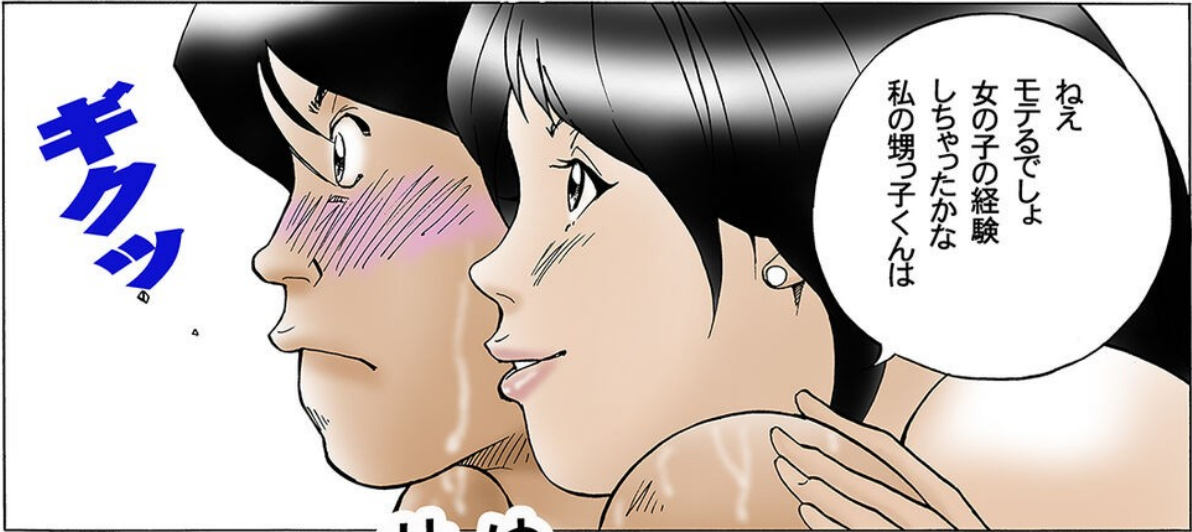
私も男の子
産みたかったな

ヌル

女の子はすぐに
生意気に
なっちゃって



やばい
股間のヤツが
おもしろくない



ねえ
モテるでしょ
女の子の経験
しちやったかな
私の甥っ子くんは



ゆり子叔母さん
せつ背中に



モテませんよ

うそ
彼女くらい
いるんですよ

いません
今まで一度もッ

またまた
リョウちゃんったら

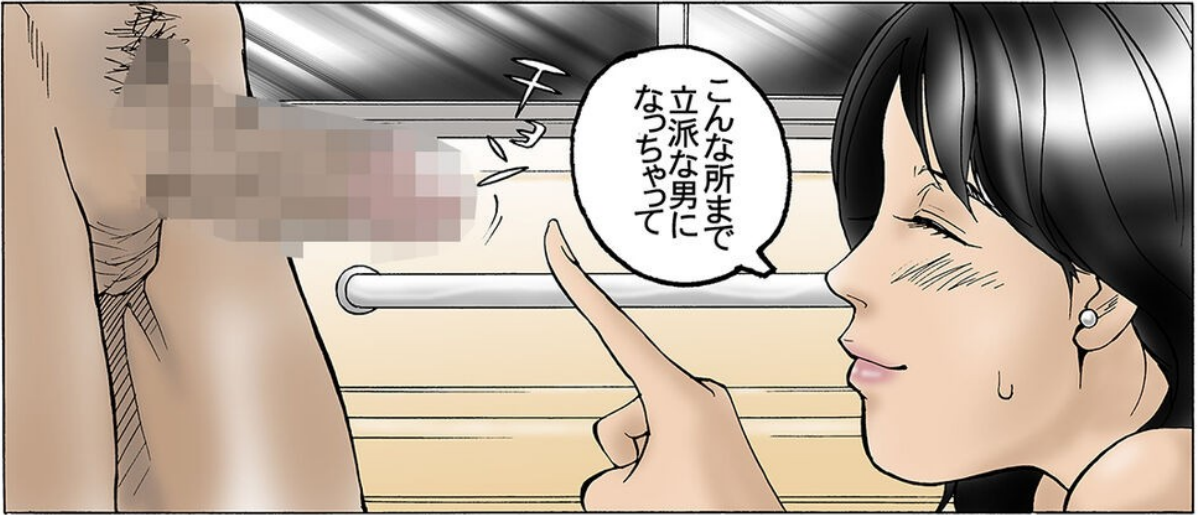


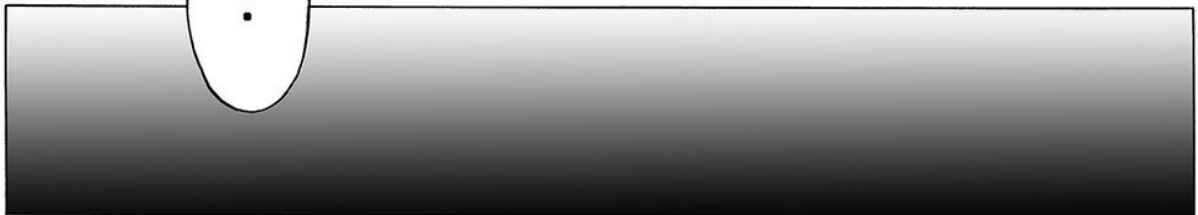
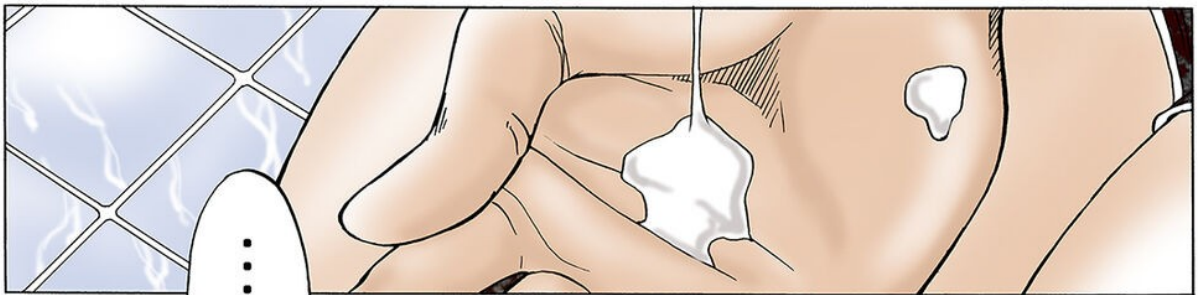
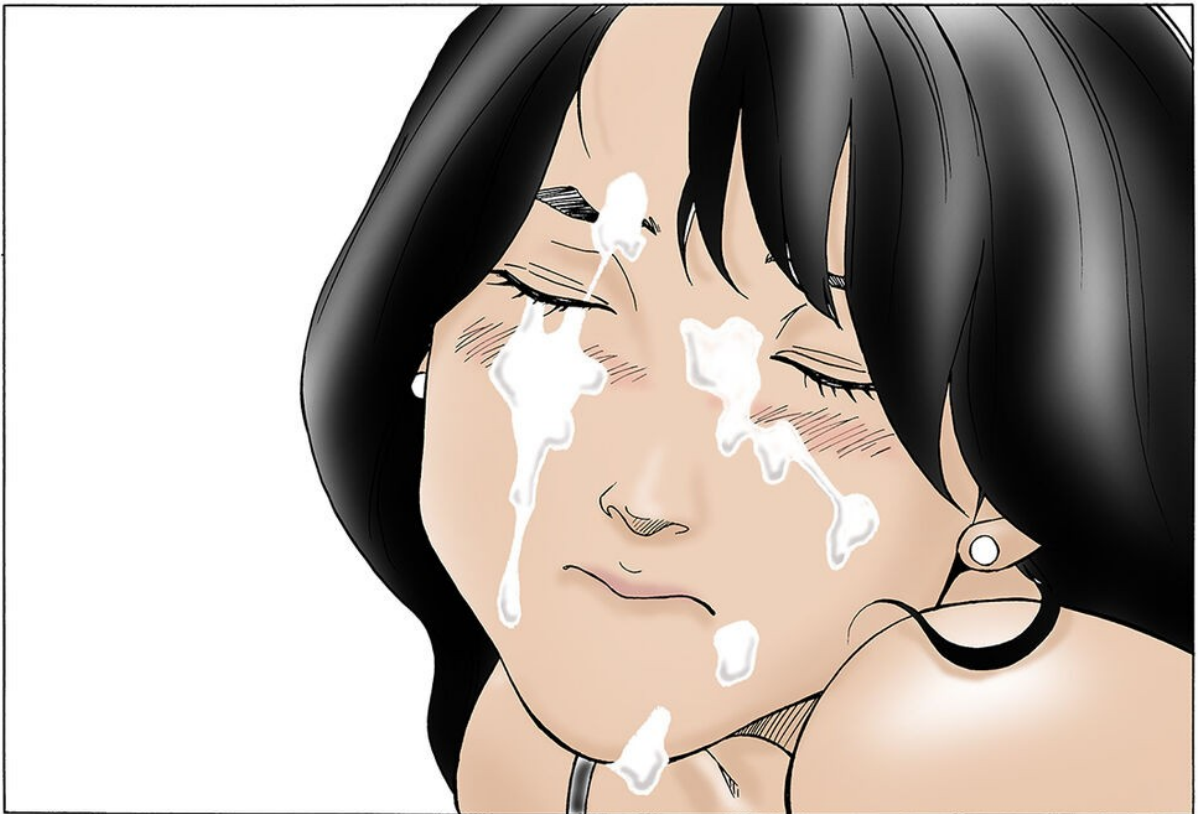
いいかげんに
してください

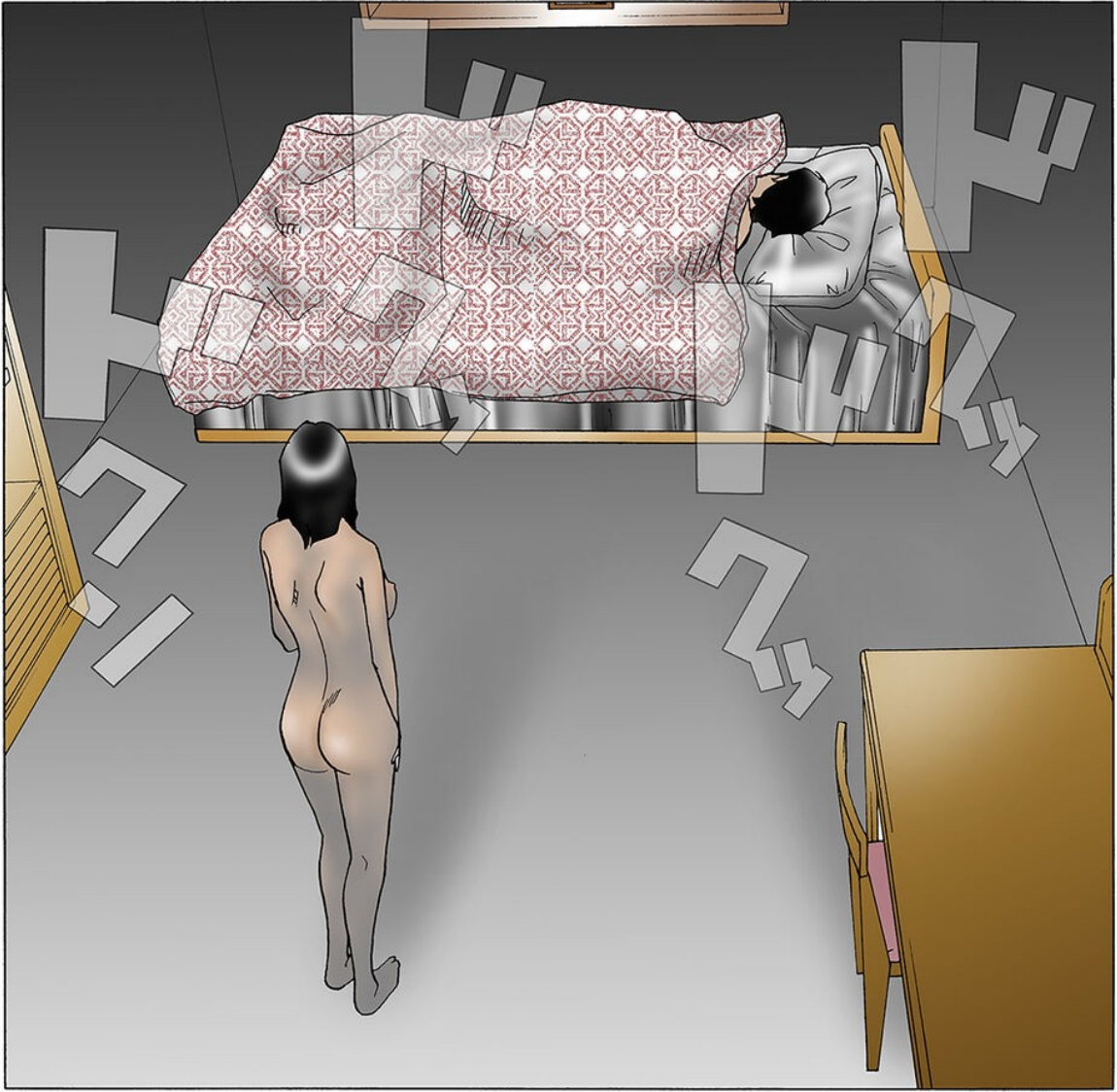
ゆり子叔母さんの
せいですよ
ボクはずっと
ゆり

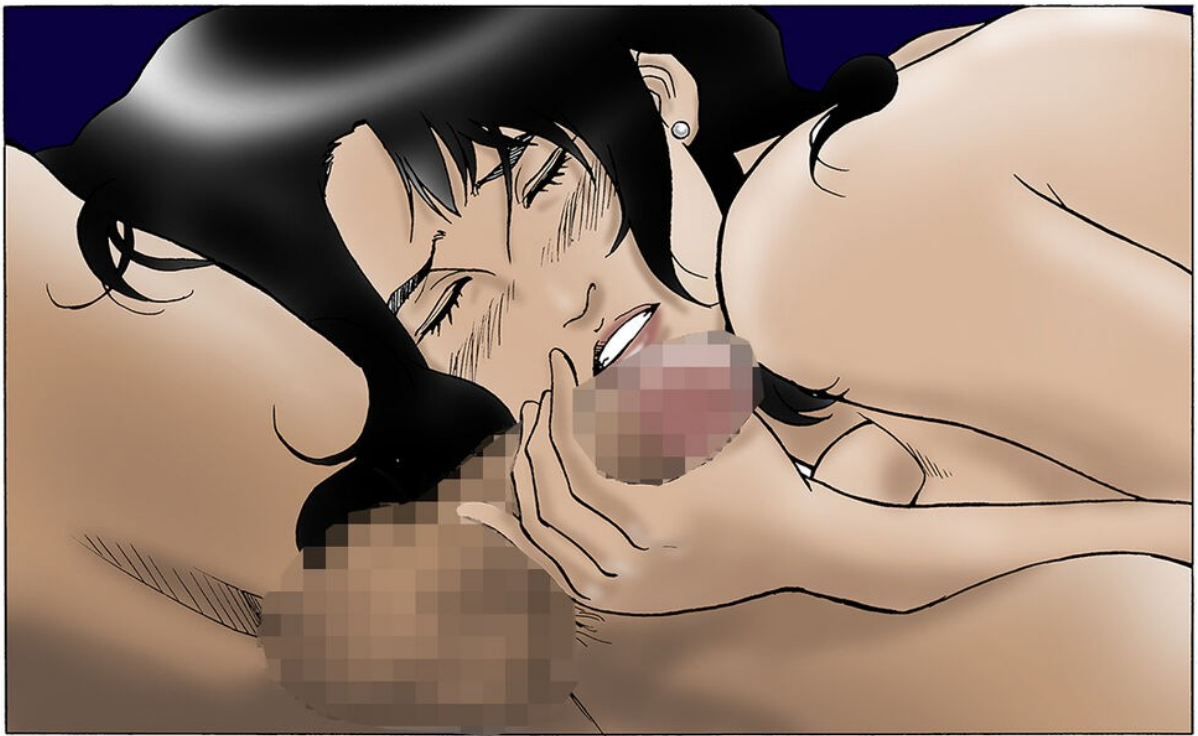
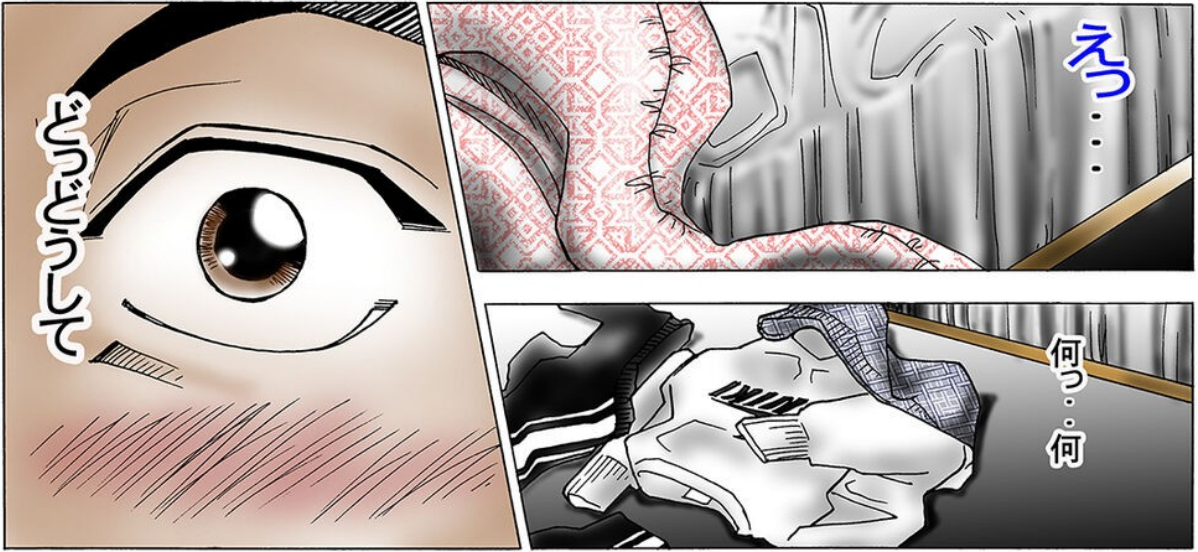
あ
ああ

あああ









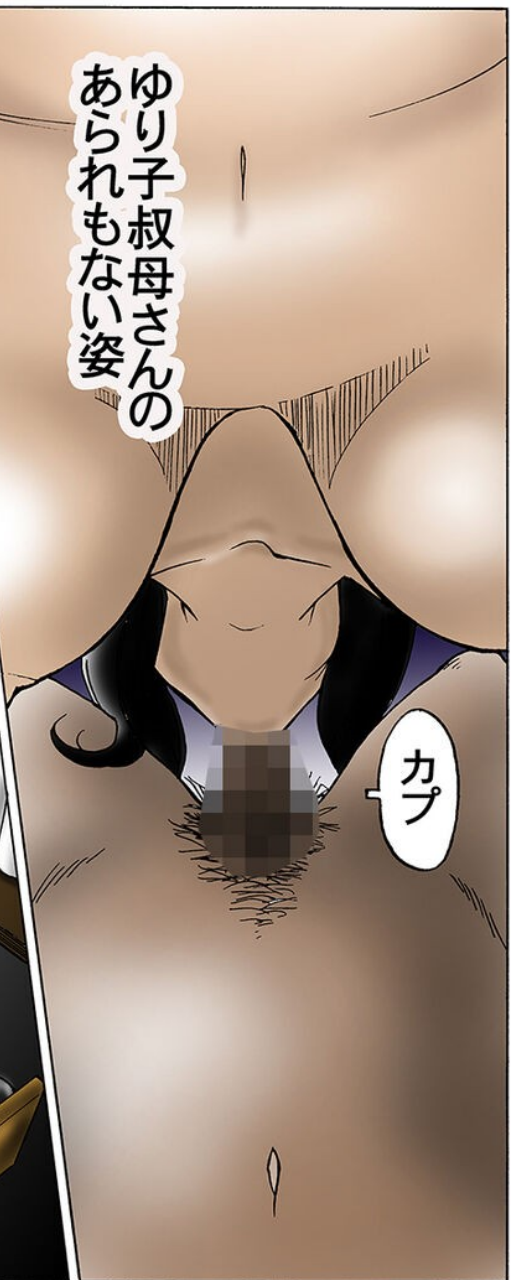
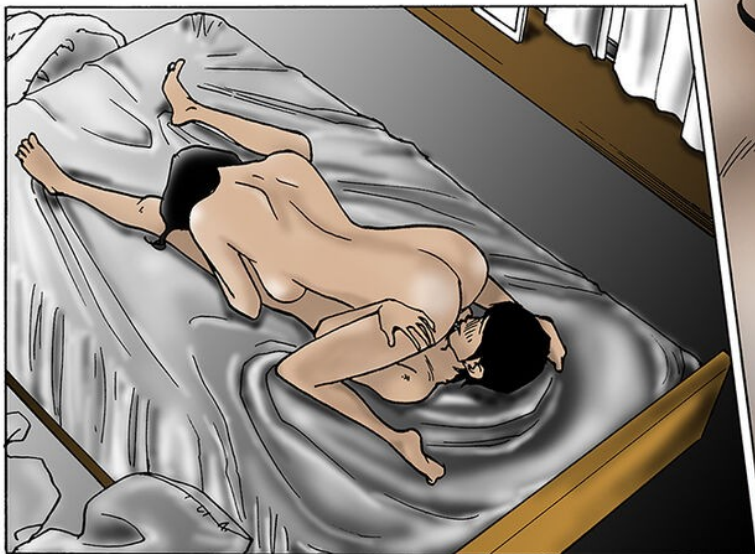
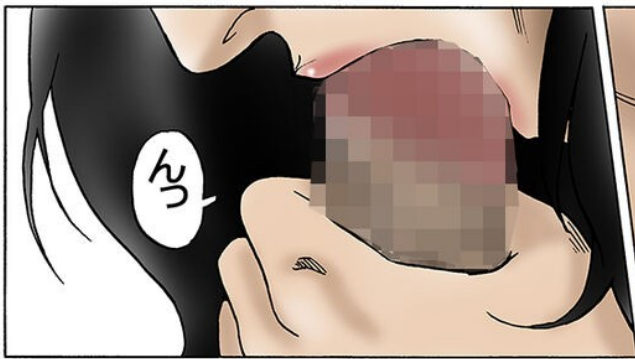
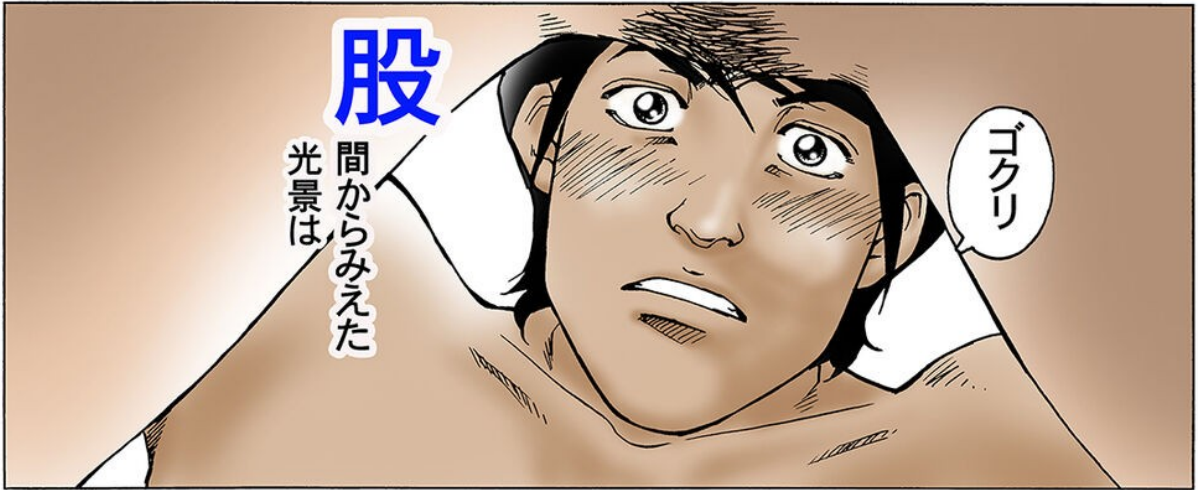
夢

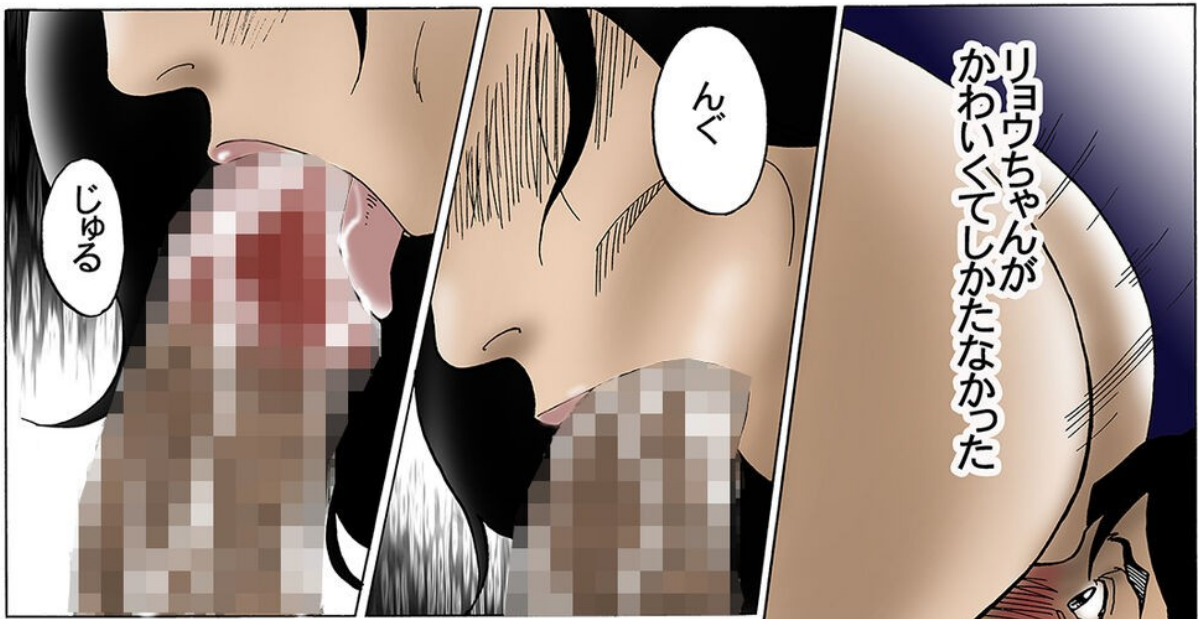
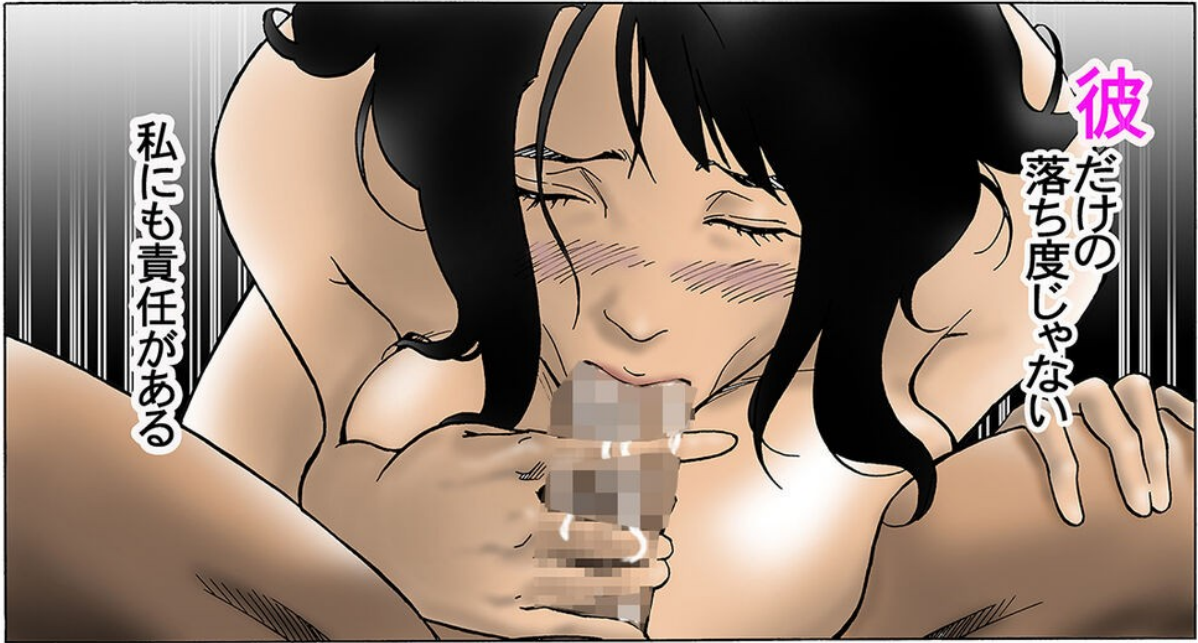
をみてるのか

夢なら

覚めないで



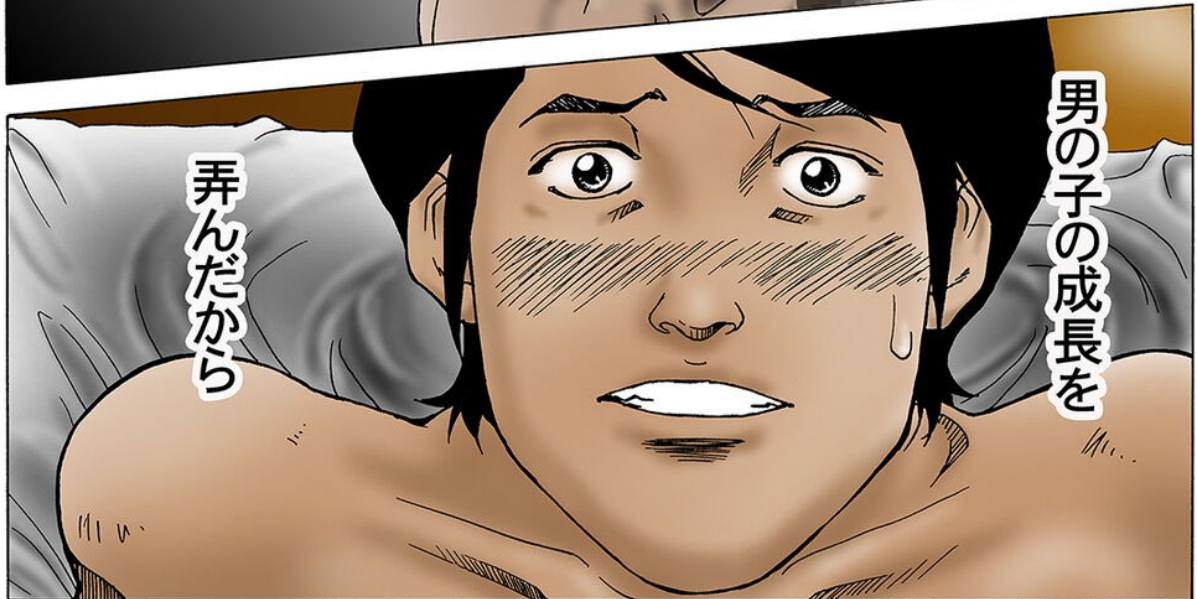






彼

が私を
叔母としてじゃなく
大人の女として
視線を向けていることに
気づきながら



男の子の成長を

弄んだから



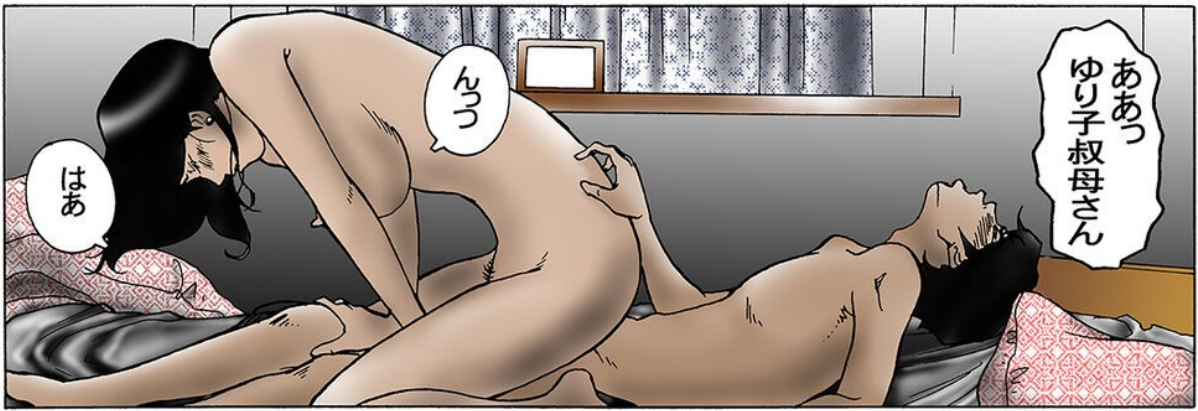
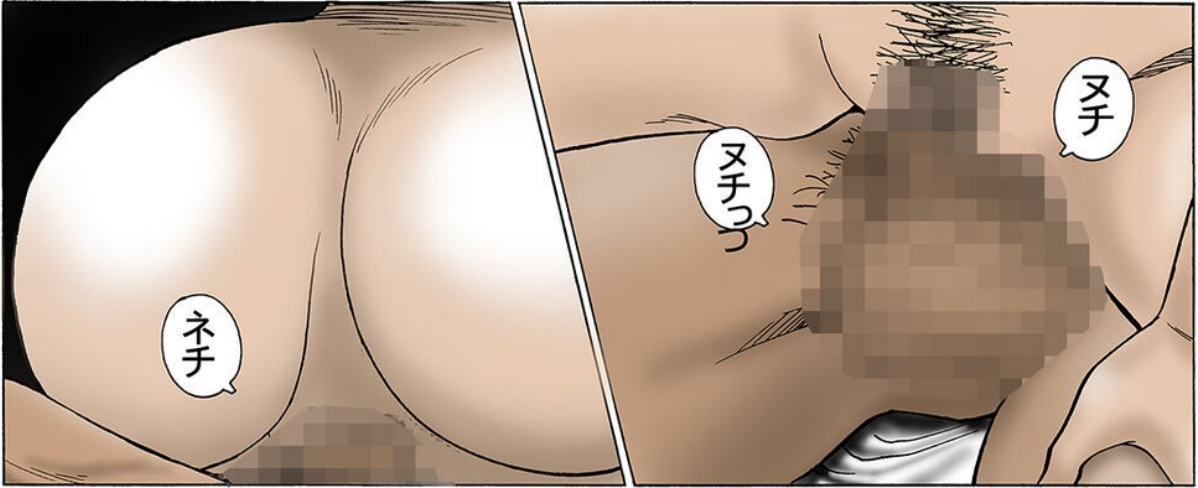
だ
ぐん

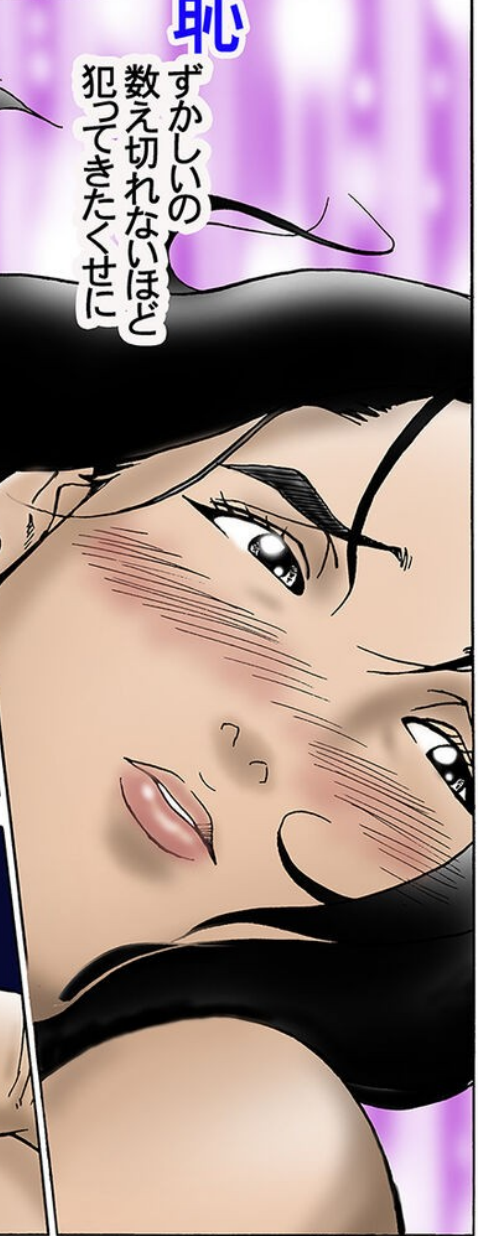
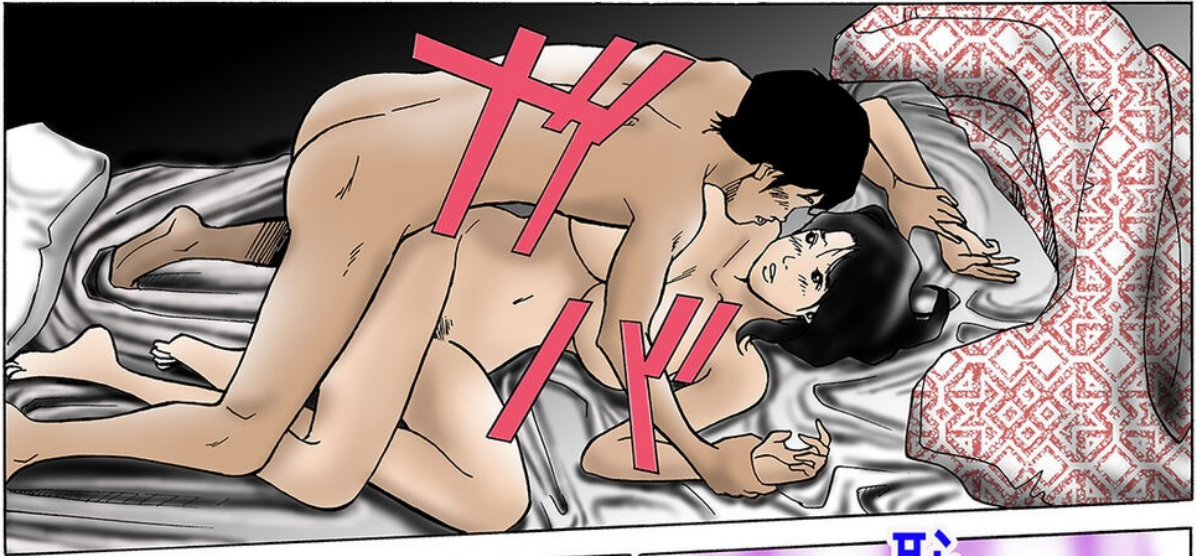
から。。。
リョウちゃんひとりに
事を背負わせるわけには
いかない

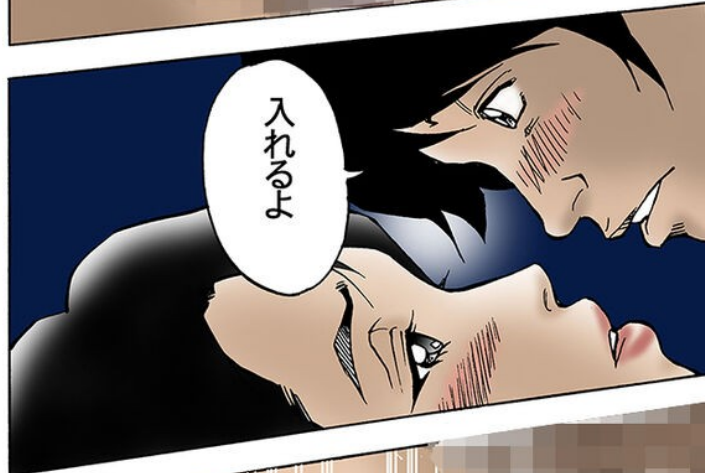
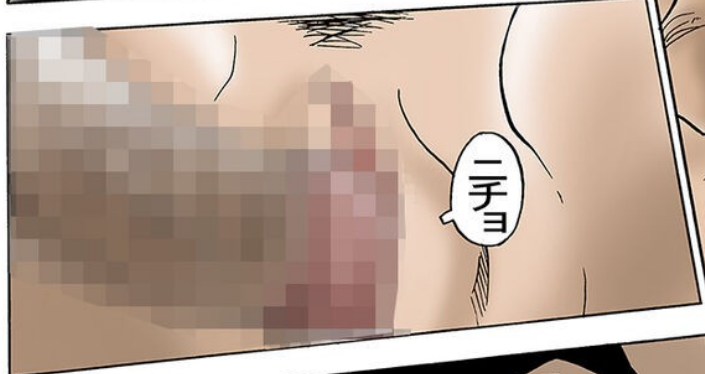
んん

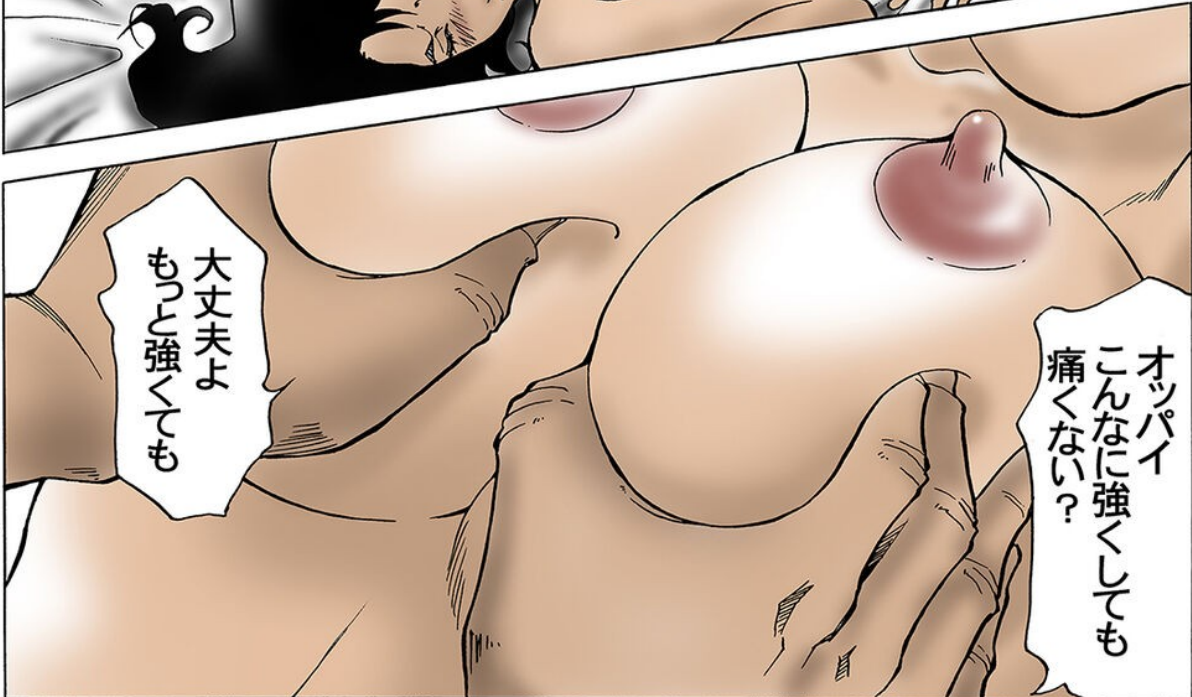
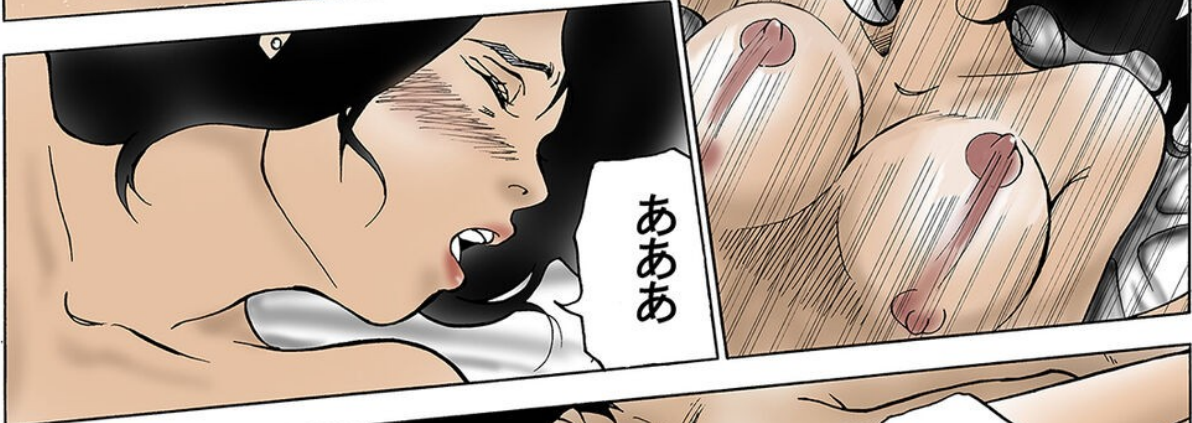
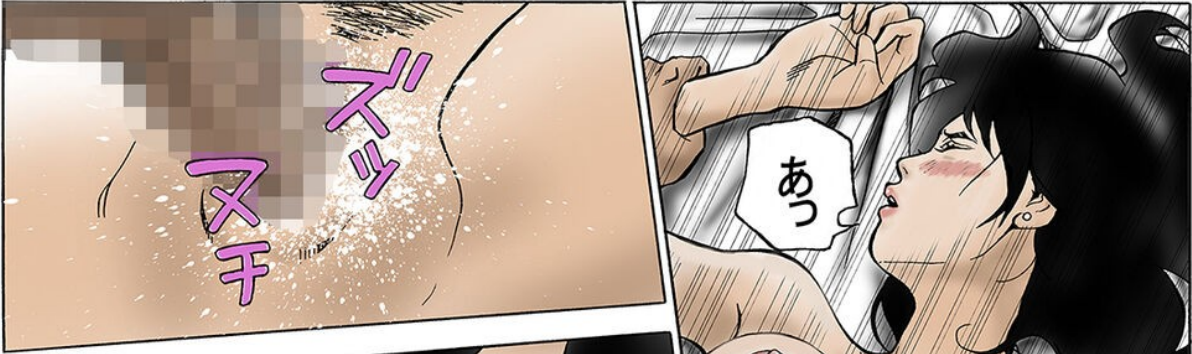
ああっ

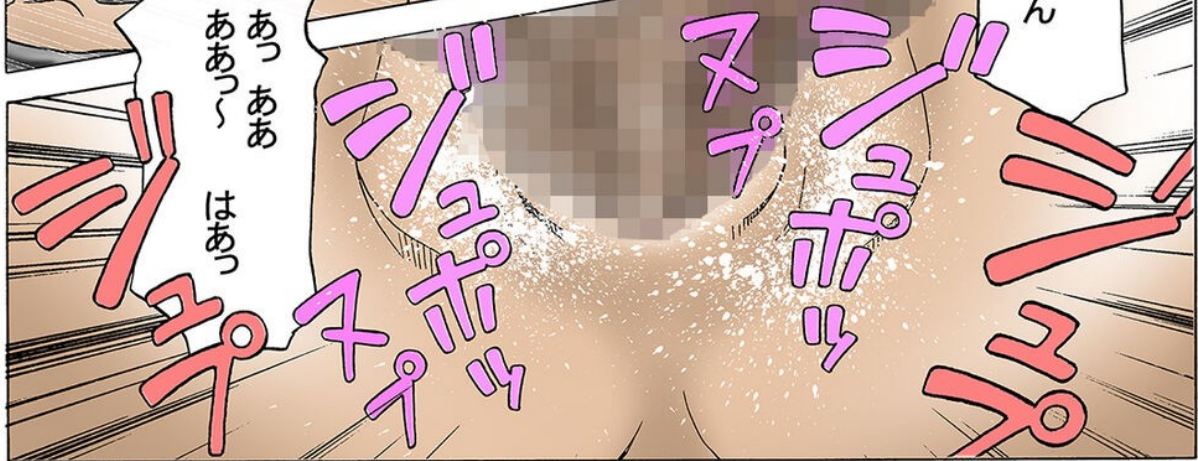
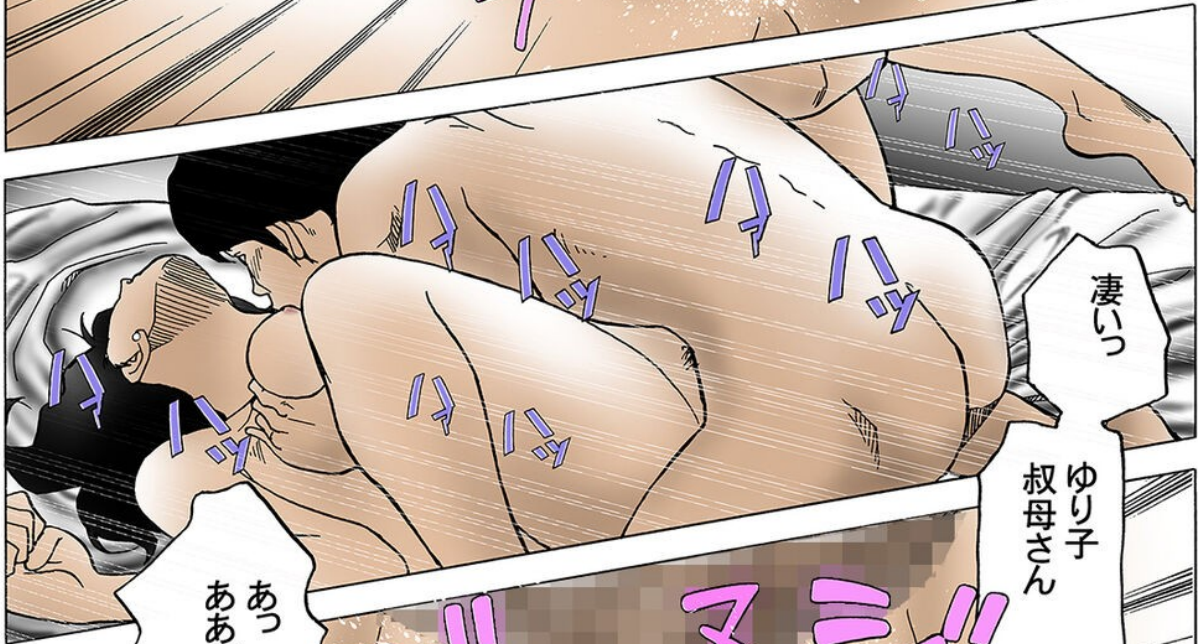
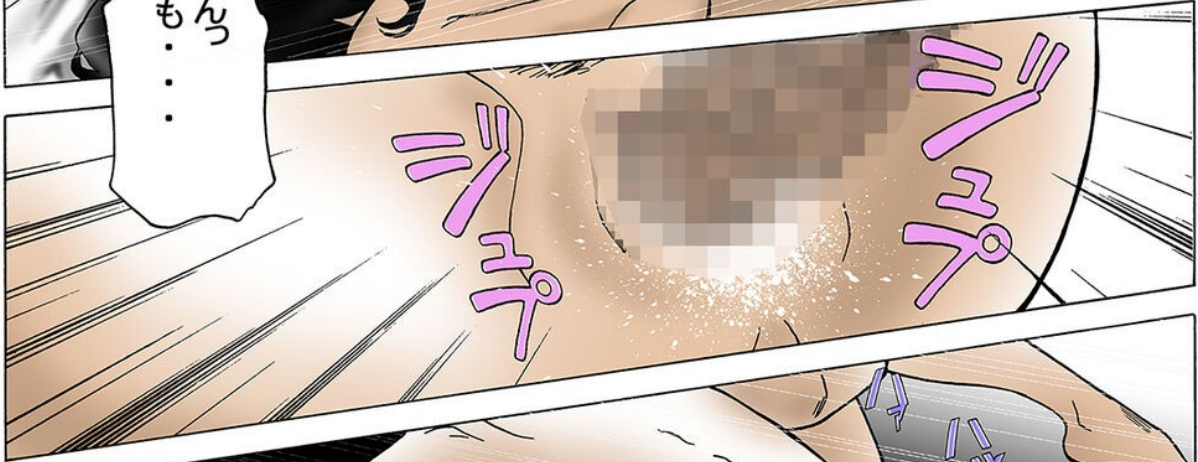
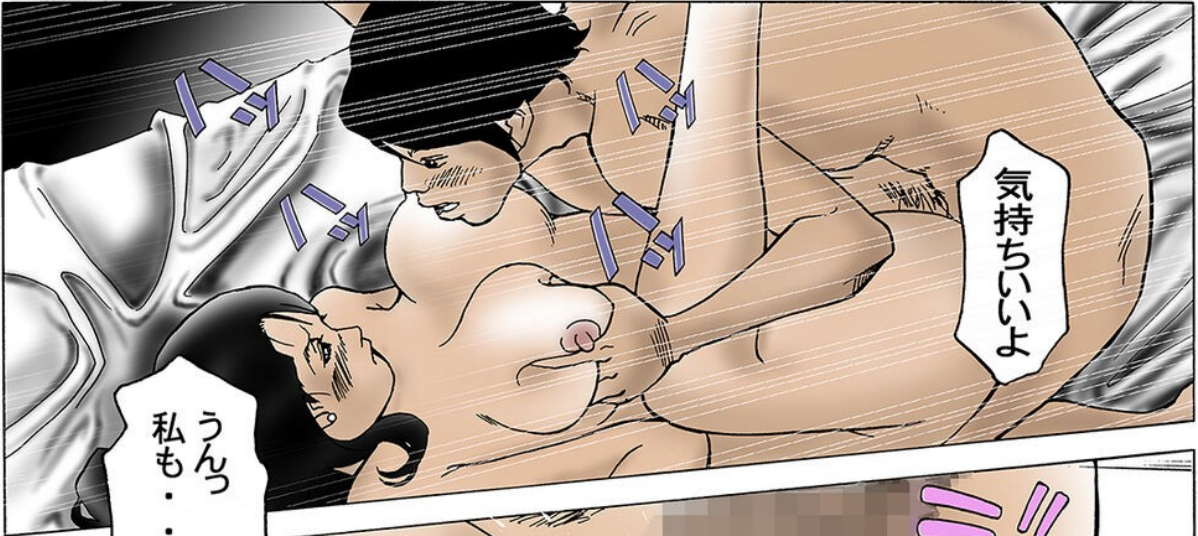
はっ

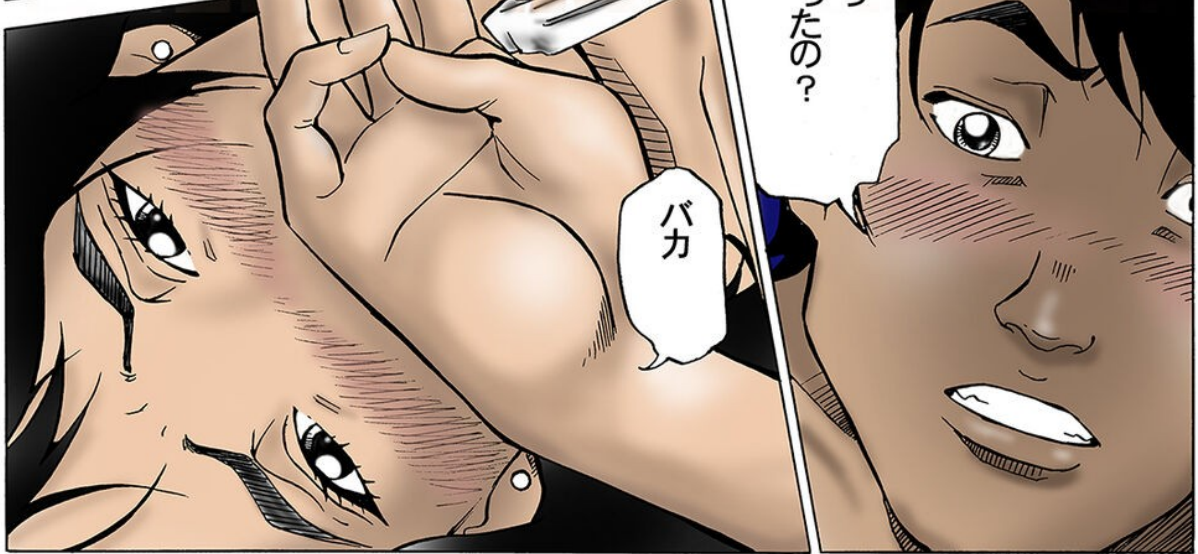














初

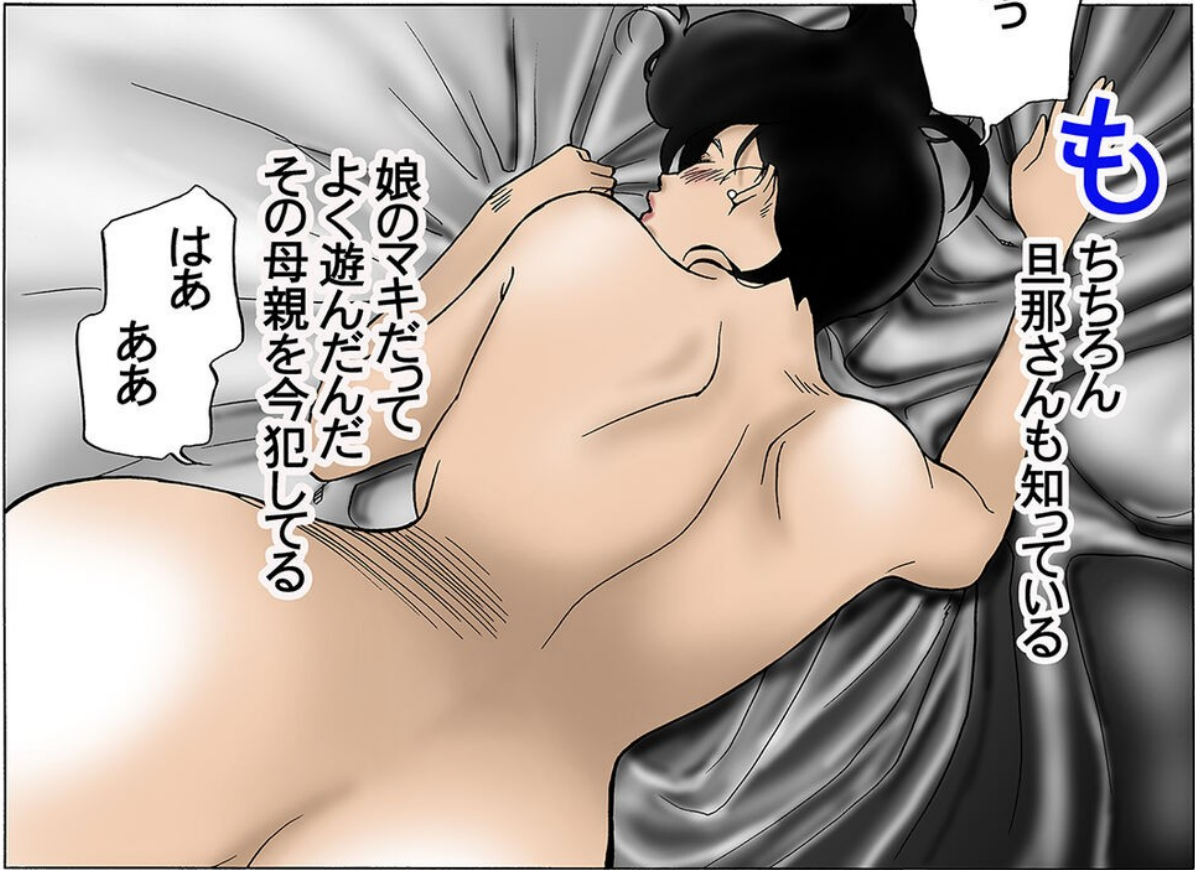
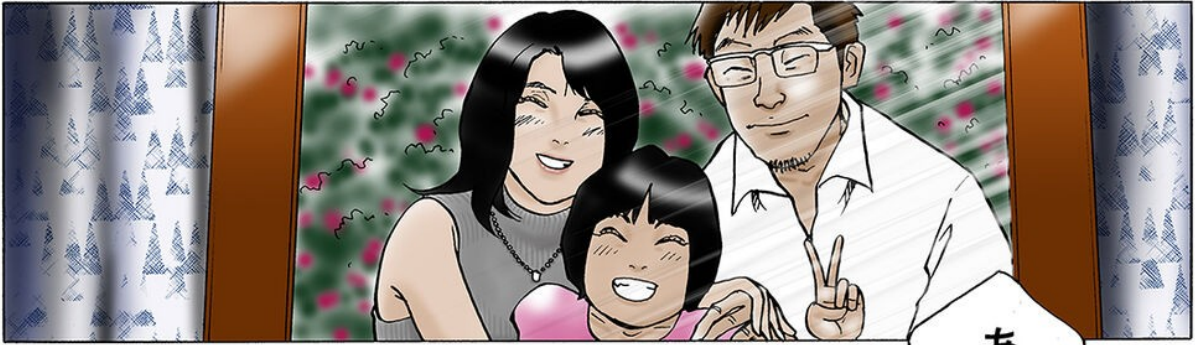
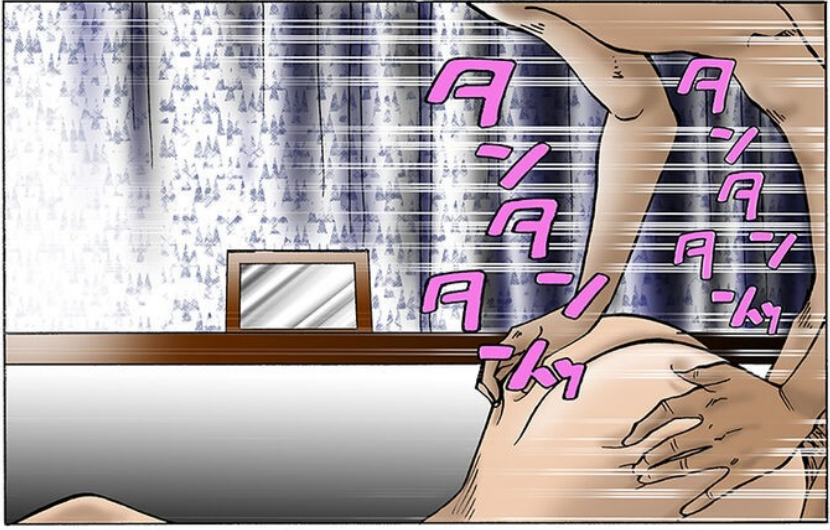
めてなのに
後ろからも

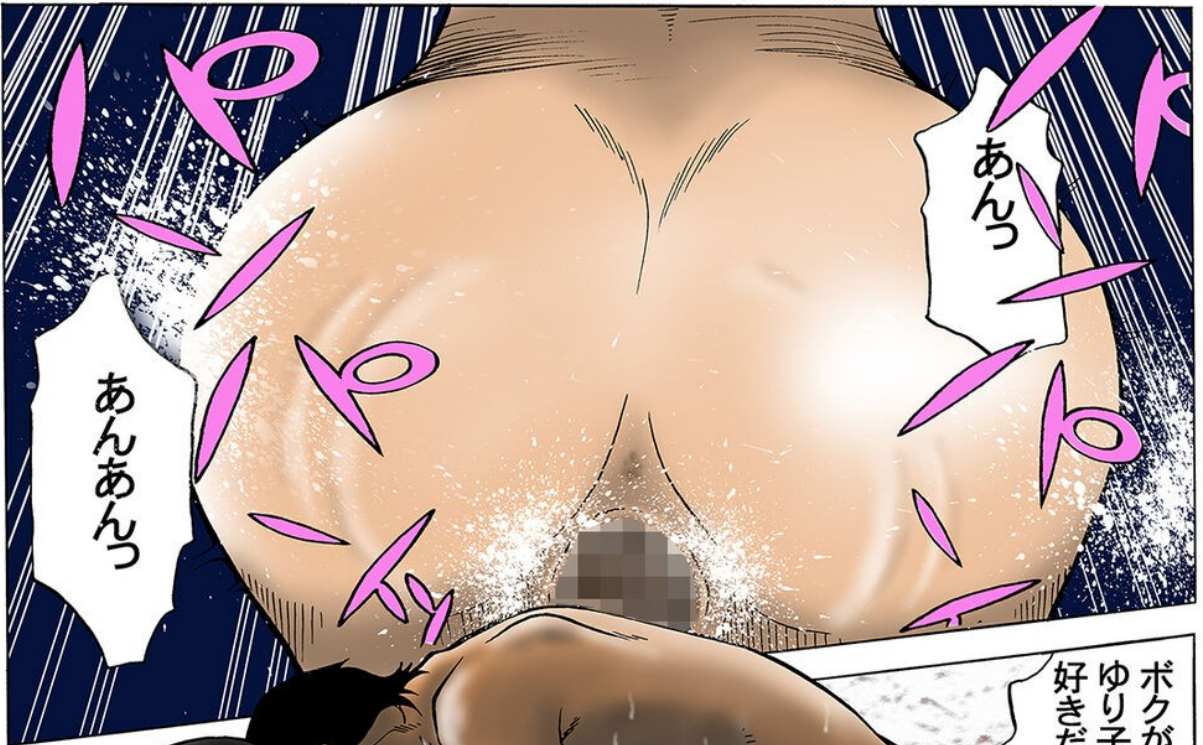
私よ
で試して。。。

ゆん

ん

うん





あんなん

あんなん



ボクがずっと
ゆり子叔母さんのこと
好きだつて知つてた

あんなん
なんとなく



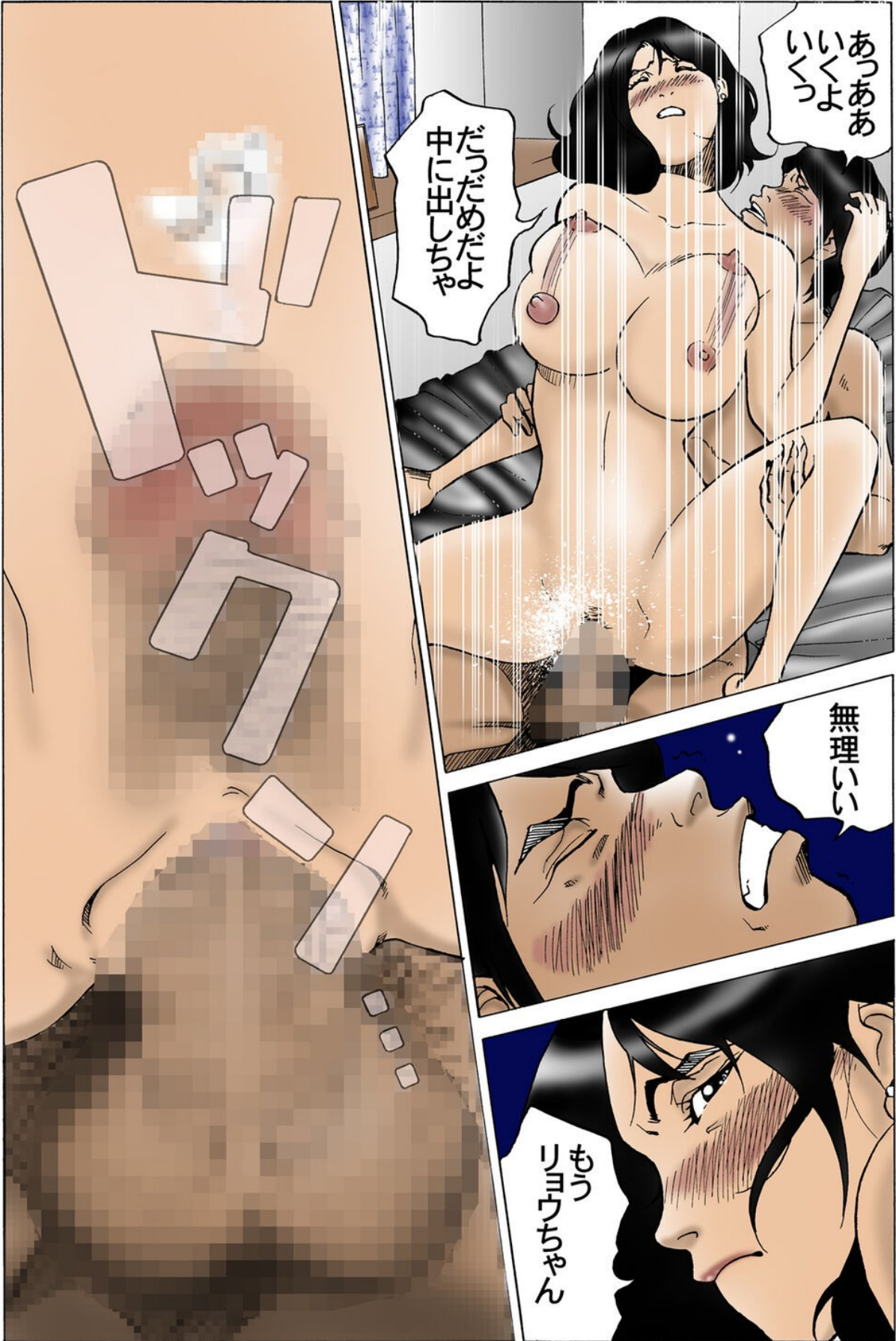
私
の身体への
執着が

痛いほど
伝わってくる

この子

気持ちいい





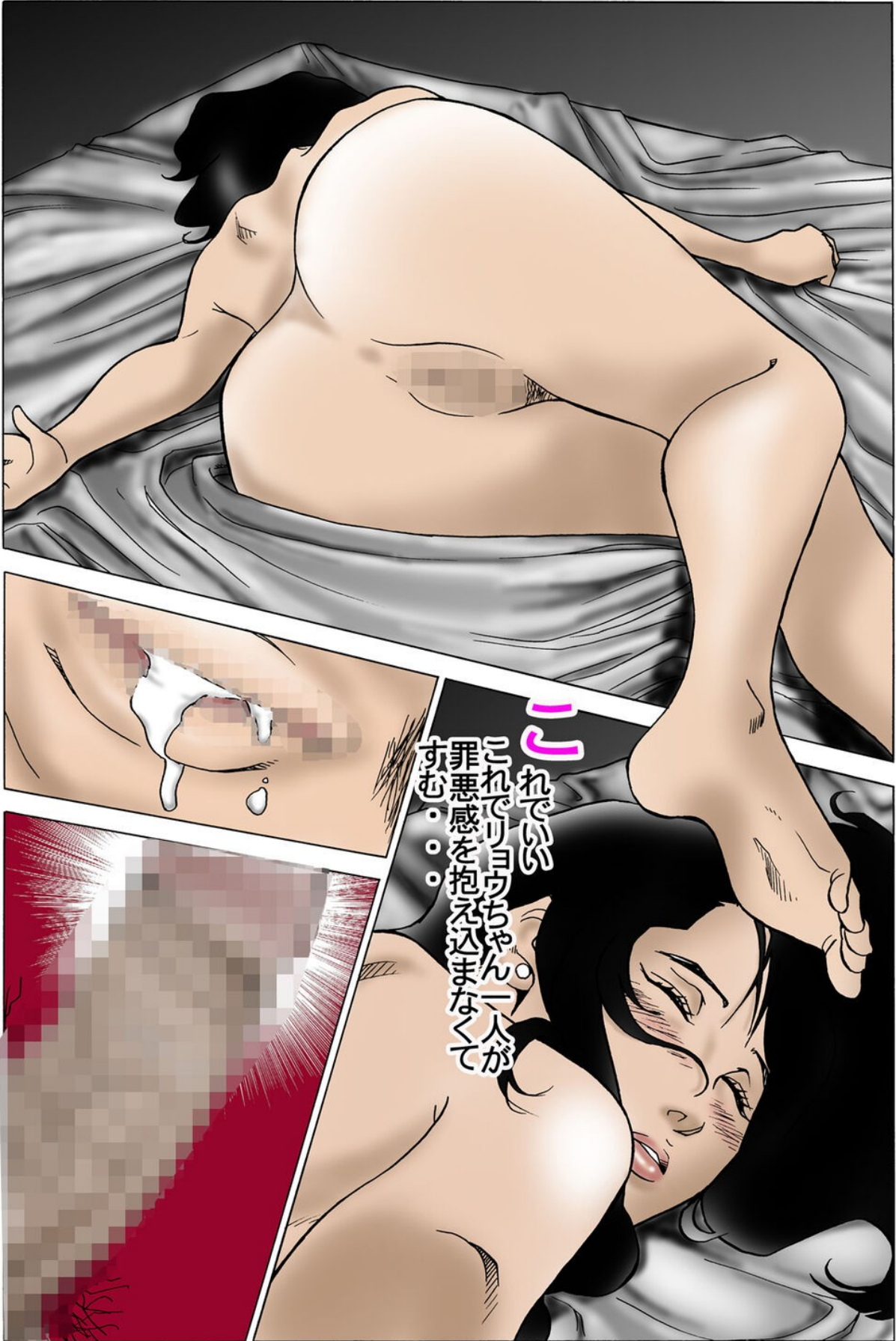
あつあつ
いくつよ

だつだめだよ
中に出しちゃ

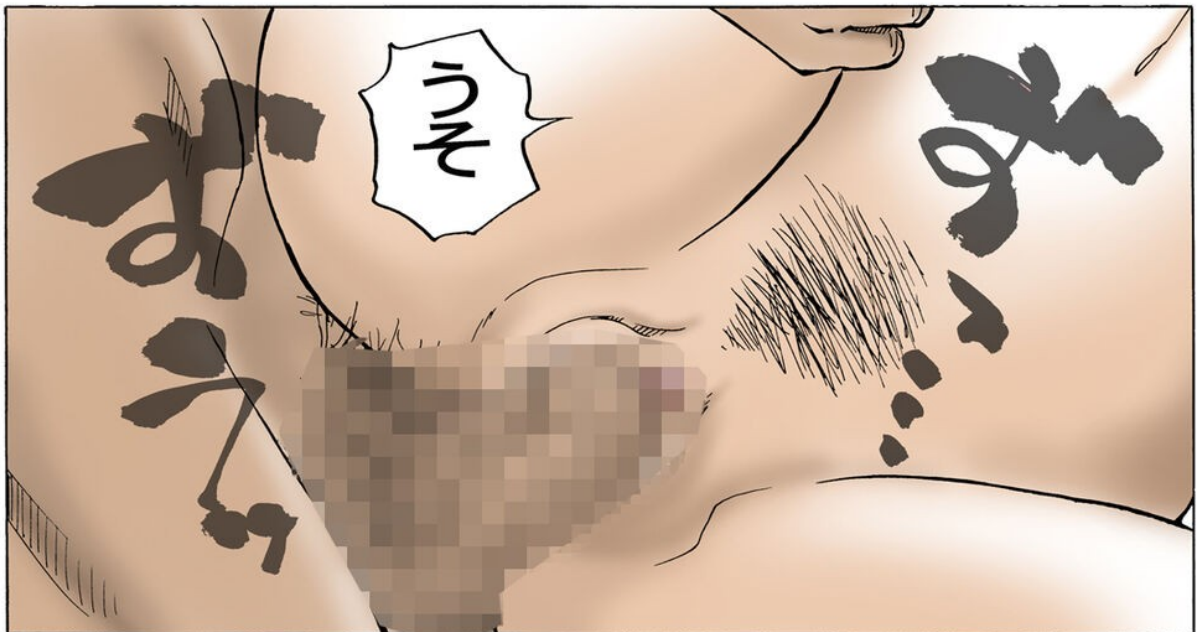
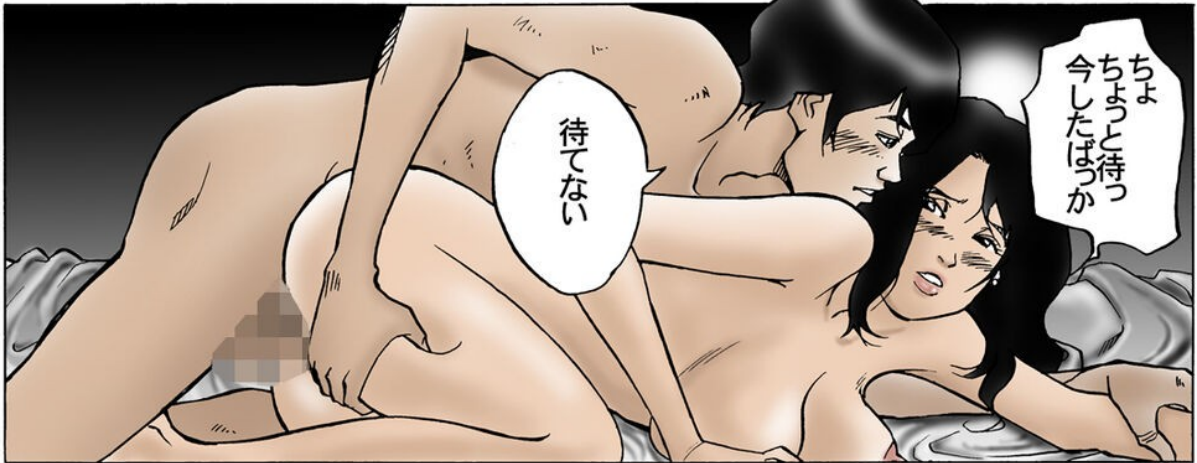
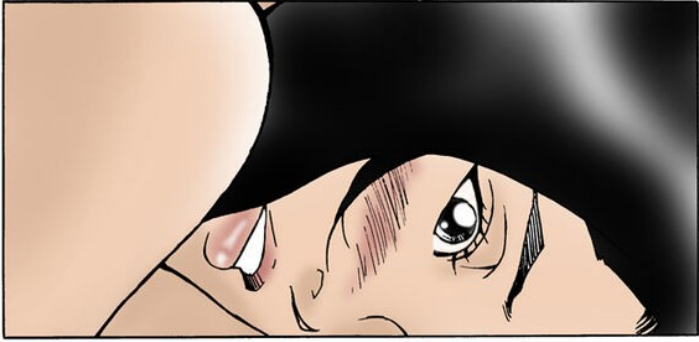
ド
ク
ク

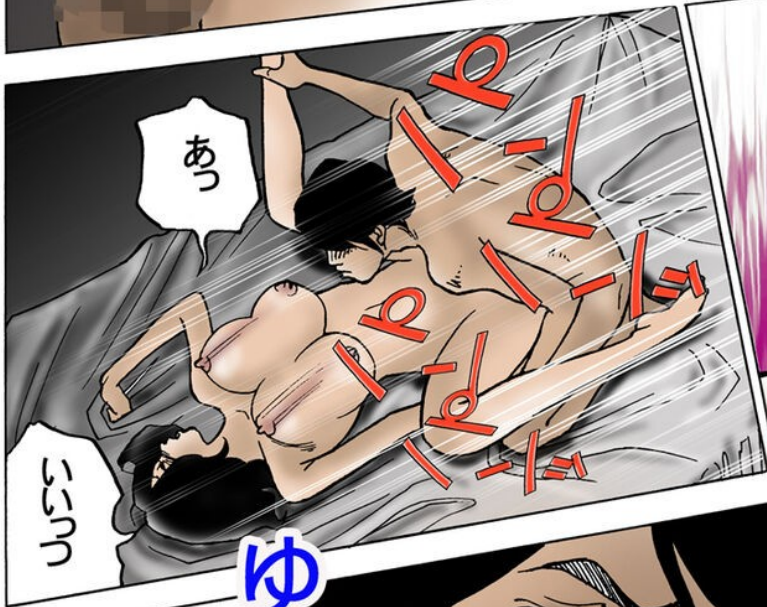
無理い

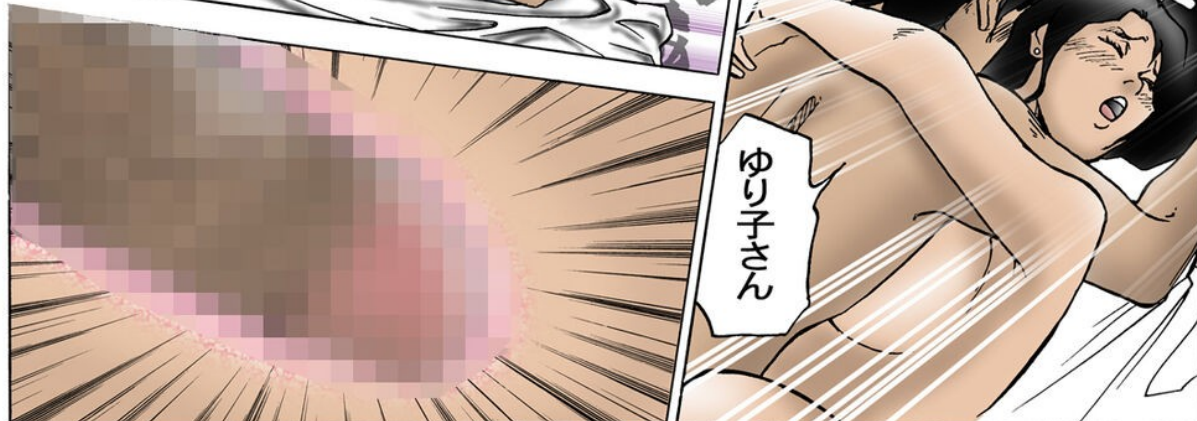
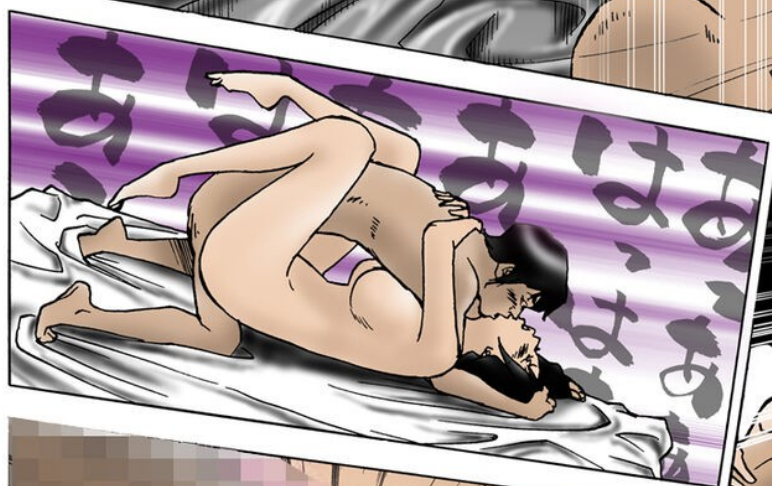
もう
リョウちゃん



これでいい
これでリョウちゃん一人が
罪悪感を抱え込まなくて
すむ。。。。









はあ

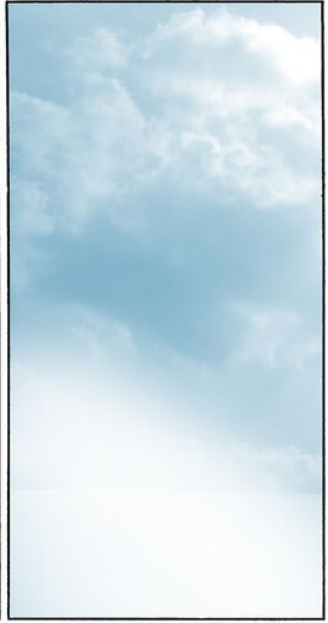
いいっ
リョウちゃん
気持ちいい

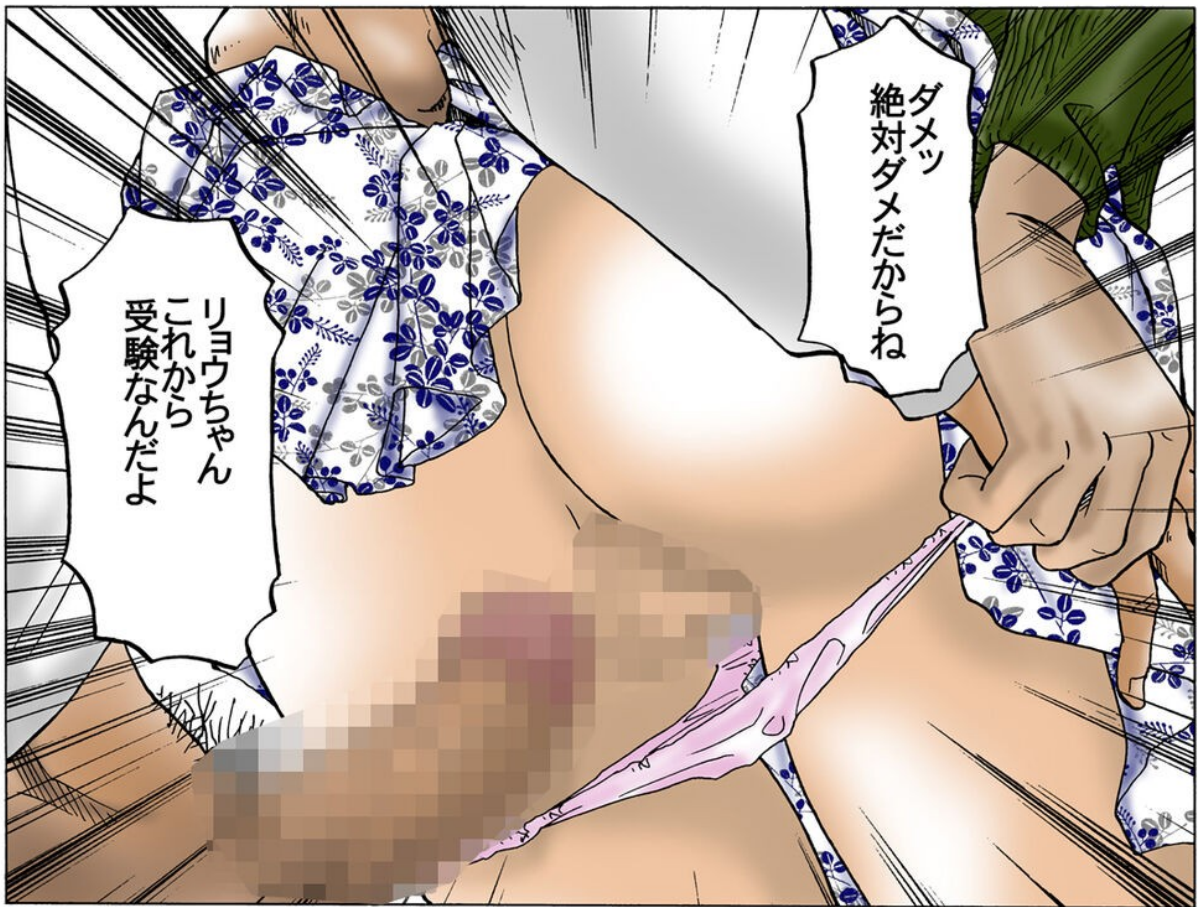
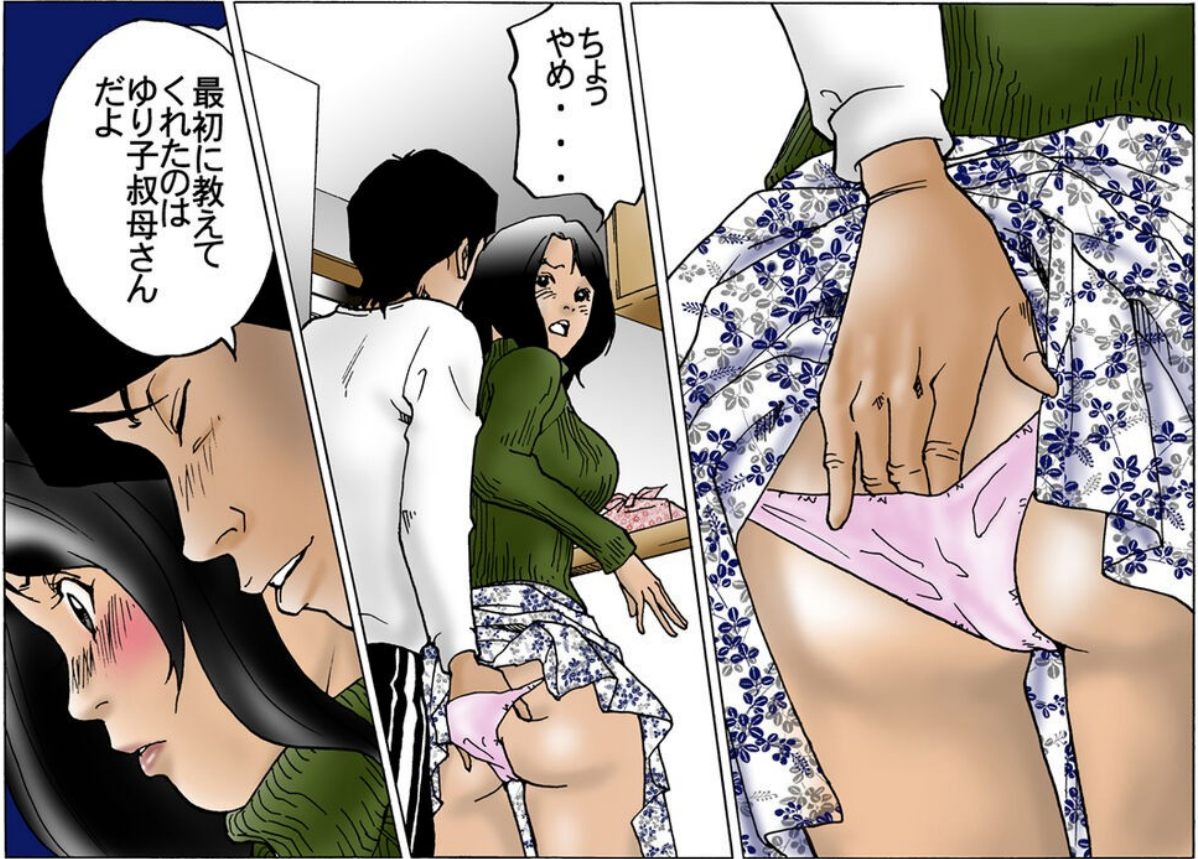
もっとうっ
もっと突いてっ

何

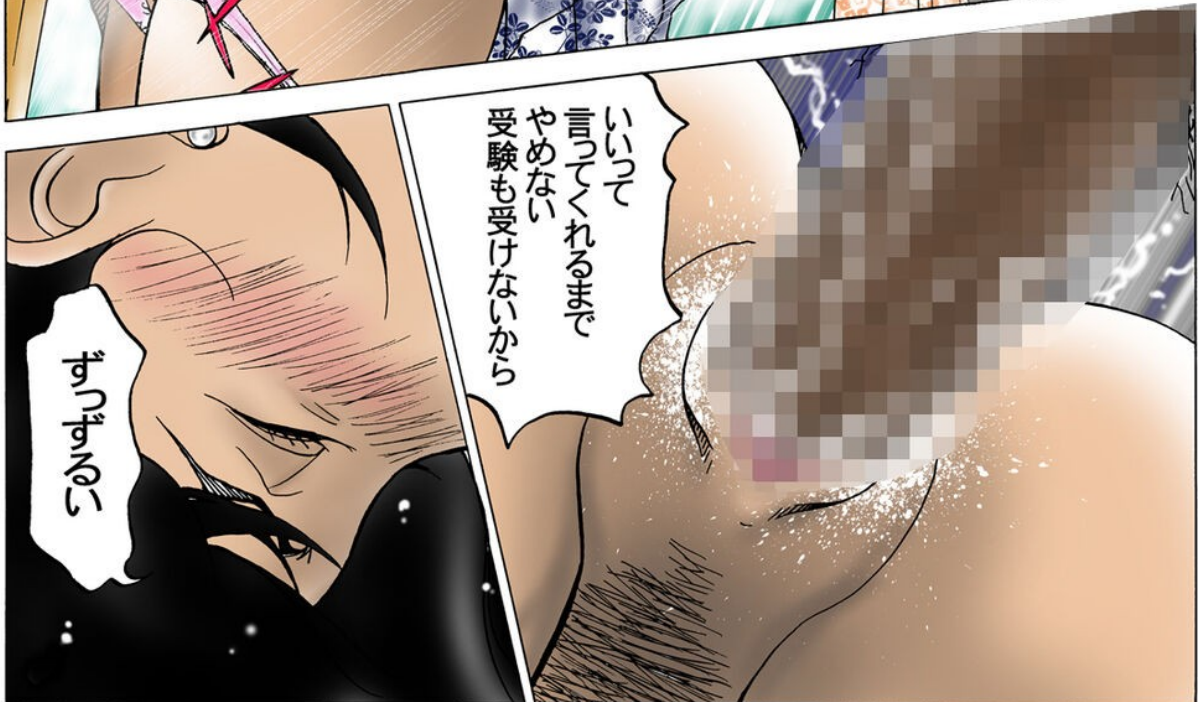
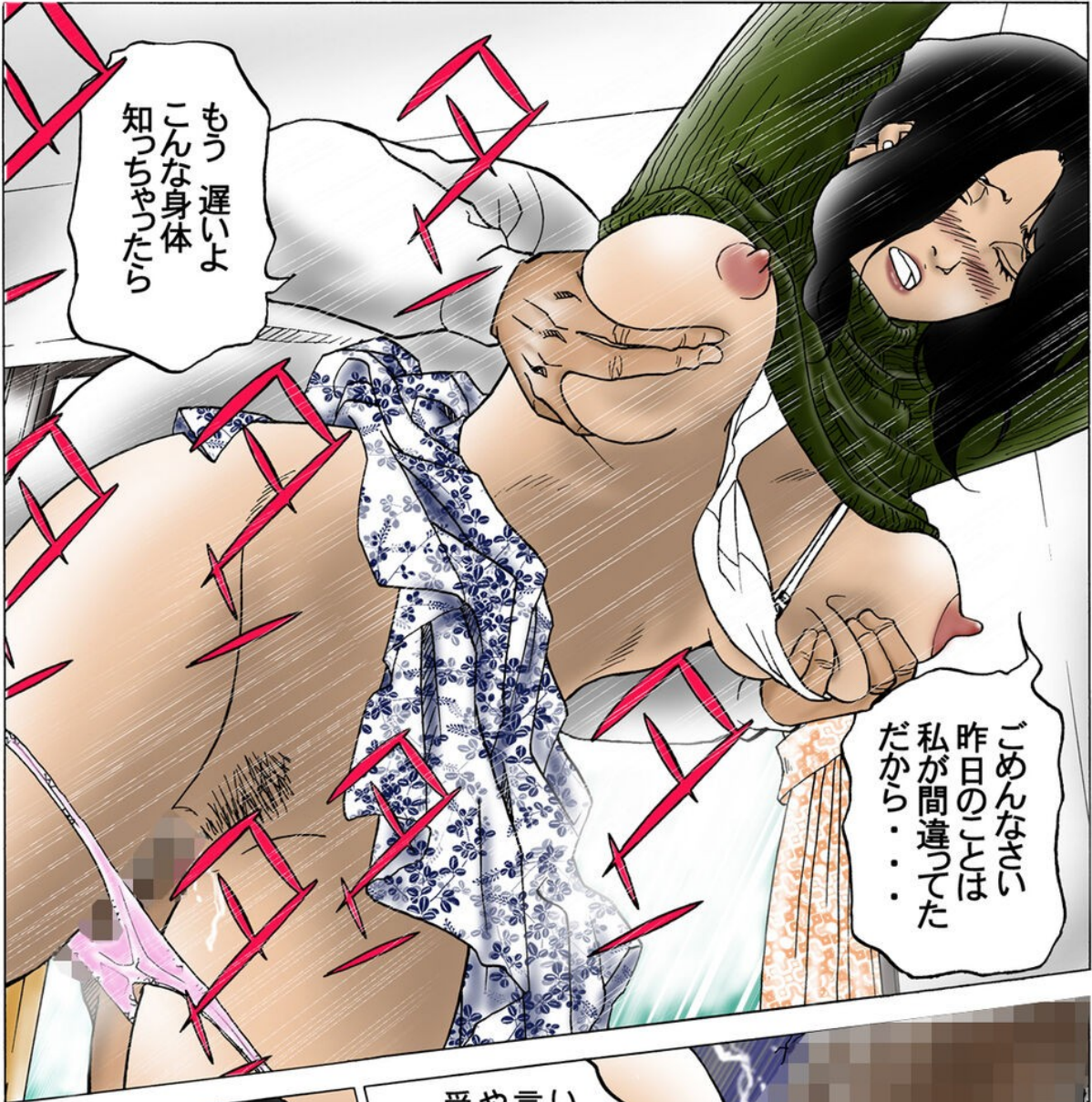
度中に射精したか
憶えていない

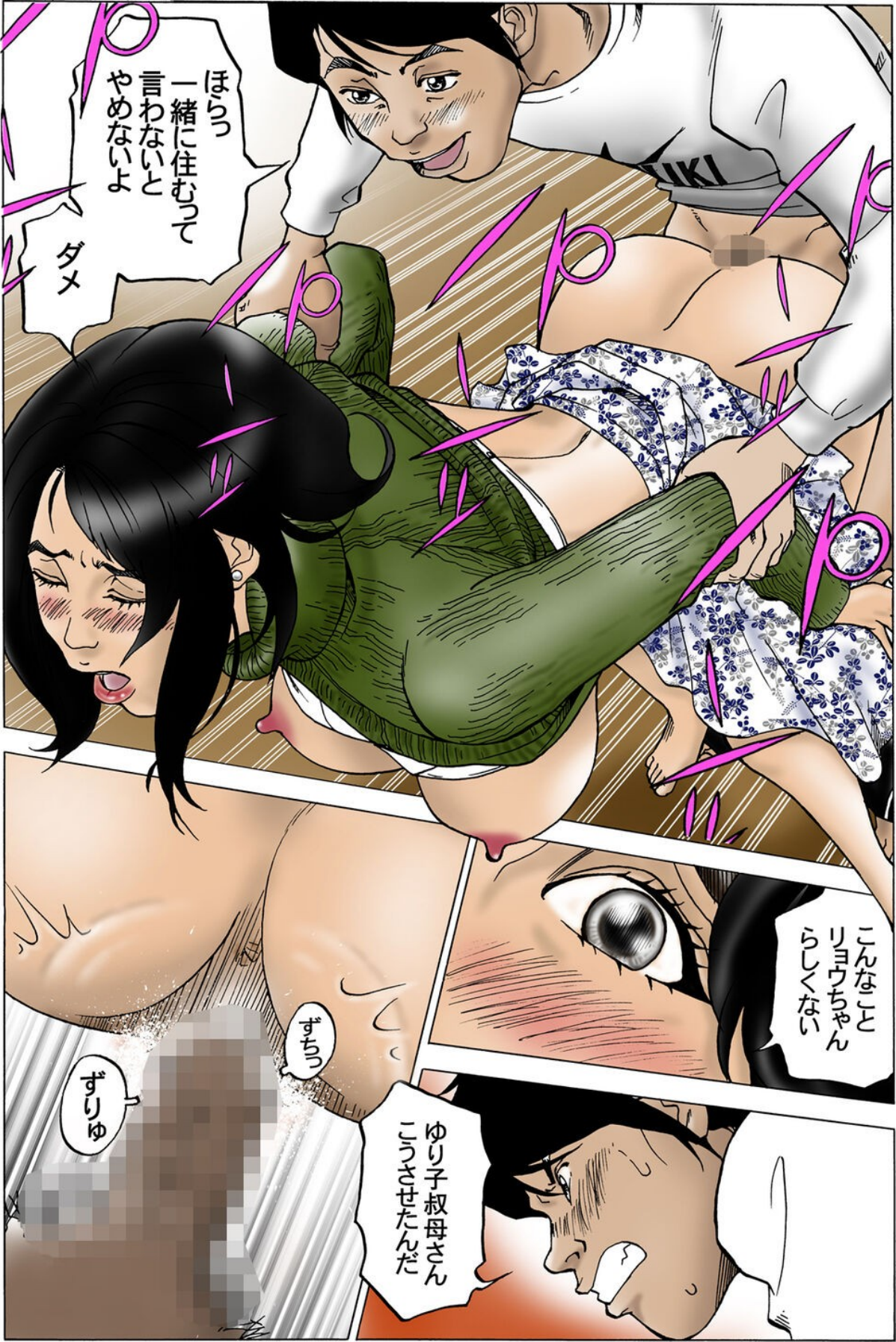
気づけば
ゆり子叔母さんは
そばにいなかった











ほりっ
一緒に住むって
言わないと
やめないよ

ダメ

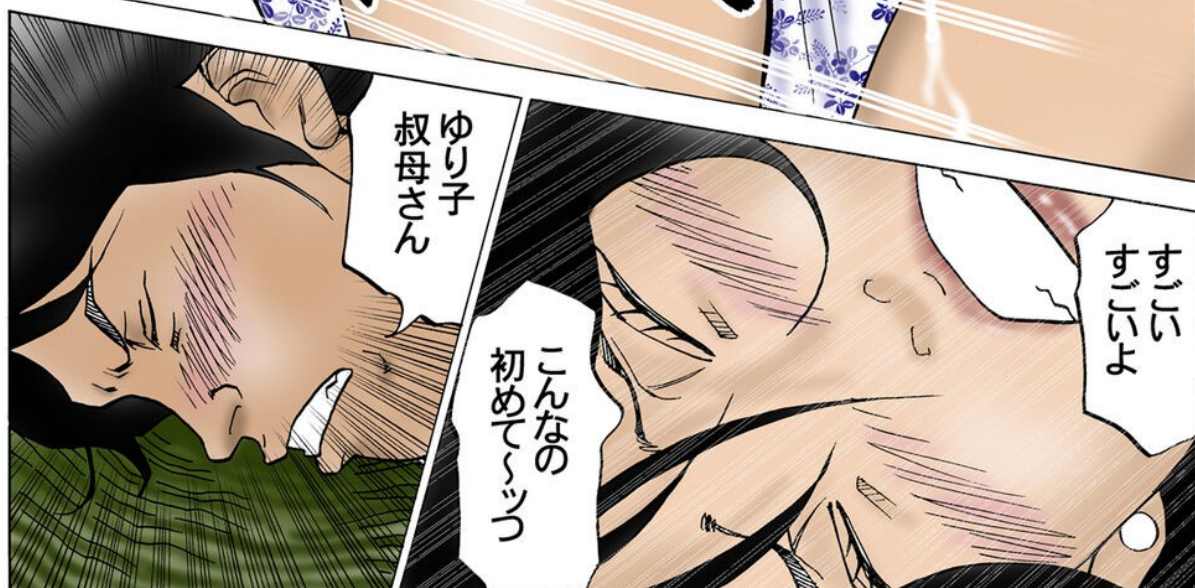
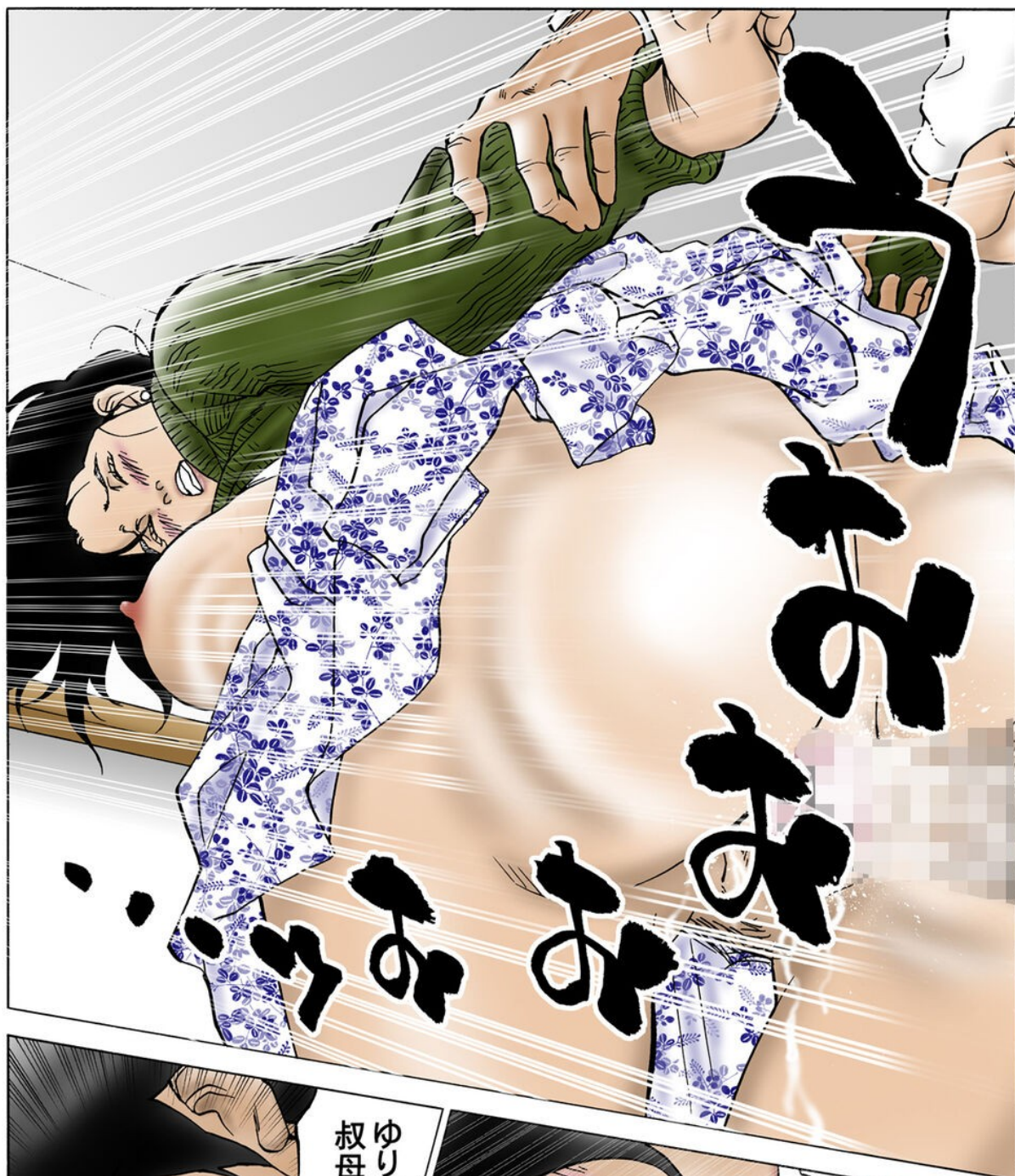
こんなこと
リョウちゃん
らしくない

ゆり子叔母さん
ごうさせただ

ずいゆ

ずいっ





ゆり子
叔母さん

こんなの
初めて〜っ

すい
すい
よ



リ

ヨウちゃん
大好き

ボ

クもだよ
ゆり子叔母さん

